算スルモ亦同シ

稱等内人

凡等内人ト稱スル者ハ初位以上ヲ謂フ士族モ亦等内人ニ準ス

稱奴婢雇人

凡官吏皿ニ華士族ノ家ニ給侍役使スル男女ヲ奴婢ト稱シ卒庶人ノ家ニ役使スル者ハ雇人ト稱シ奴婢ト稱スルヿヲ得ス

稱等内人條例

第九十六條　凡等内人ト稱スル者ハ初位以上ヲ謂フ律ヲ攷メ官十五等以上ヲ謂フ

稱雇人條例

第九十七條　凡官吏華士族ノ家ニ給侍役使スル男女ヲ奴婢ト稱シ卒庶人ノ家ニ役使スル者ハ雇人ト稱シ律ヲ攷メ倶ニ雇人ト稱ス其各律ニ分別輕重アル者モ一體ニ雇人ノ權衡ニ從ヒ科斷ス若シ但タ奴婢ト單稱シテ雇人ヲ聨リル者ハ攷正

僧尼於受業師

凡僧尼ノ受業師ニ於ル。伯叔父姑ト同シ。其徒弟ニ於ル。兄弟ノ子ト同シ。

斷罪無正條

凡律令ニ。該載シ盡サヽル事理。若クハ罪ヲ斷スルニ。正條ナキ者ハ。他律ヲ援引比附シテ。加フ可キハ

各條ニ依リ科斷ス。

第九十八條　凡勅奏官位ノ執事。及ヒ華族ノ家令扶從ハ。本籍平民ト雖モ。家長ニ代ル公事ニ係レハ。倶ニ士族ニ準ス。其私事ニ係ル者ハ。各本籍ヲ以テ處分ス。

斷罪無正條條例

第九十九條　凡律例ニ罪名ナク。令ニ制禁アリ。及ヒ制禁ナキ者。各所犯ノ輕重ヲ量リ。不應爲違令違式ヲ以テ論シ。情罪重キ者ハ。違制ニ問擬ス。

加へ。減ス可キハ減シ罪名ヲ定擬シテ上司ニ申シ。議定ッテ奏聞ス。若シ輒ク罪ヲ斷シ出入アルコトヲ致ス者ハ。故失ヲ以テ論ス。

斷罪依新頒律

凡律ハ。頒降ノ日ヨリ始ト爲ス。若シ所犯頒降已前ニ在ル者モ。並ニ新律ニ依テ擬斷シ。舊律ヲ援引スルコトヲ得ス。

名例律斷罪無正條條例左之通相定候條此旨布告候事

斷罪無正條條例

凡罪ナ斷スル正條アリト雖モ所犯情狀輕キ者ハ仍ホ情法ヲ酌量シテ輕減スルコトヲ聽シ減シテ五等ニ過ルコトヲ得ス

斷罪依新頒律條例

第百條 凡例モ。亦頒降ノ日ヨリ始ト爲スト雖モ。若シ事犯頒例以前ニ在テ。原律罪名輕キ者ハ。仍ホ原律ニ依テ定擬ス。

新律綱領目錄 計一十五條

職制律

遺失詔書

棄毀官文書

詔書有違

上書奏事錯誤

事應奏不奏

失誤朝賀

失儀

擅離職役

無故不朝參公座

衝突儀仗

至下馬牌不下

出納有違

改定律例目錄

職制律

棄毀官文書 三條

無故不朝參公座 一條

明治九年第四十八号御布告ヲ以テ新律綱領改定律例中職制律ヲ廃ス

新律綱領

職制律

遺失詔書

凡詔書ヲ遺失シ及ヒ誤毀スル者ハ杖一百水火盗賊ニ因リ毀失シテ顯跡アル者ハ坐セス。

棄毀官文書

凡官ノ文書ヲ故サラニ棄毀スル者ハ杖一百重事ニ關スル文書ハ一等ヲ加フ規避スル所アル者ハ重キニ從テ論ス誤毀スル者ハ杖七十遺失スル者モ罪同省臺寮司府藩縣ノ文書ハ各二等ヲ減シ餘ノ文書ハ各五等ヲ減ス若シ官物

改定律例

職制律

棄毀官文書

第百一條　凡官廳ノ通行印鑑ヲ遺失シ及ヒ誤毀スル者ハ懲役十日

第百二條　凡官司ノ密事ヲ漏泄スル者ハ懲役一年輕キ者ハ一等ヲ減ス

第百三條　凡官ノ印ヲ棄毀スル

那移出納

私借官物　二條

不覺被盜　一條

ヲ主守シテ簿書ヲ遺失シ以テ錢
糧數目ノ錯亂ヲ致ス者ハ杖八十
其水火盜賊ニ因テ毀失スル者ハ
坐セス。

詔書有違

凡詔書ヲ奉シ施行スルニ官吏故
サラニ違フル者ハ徒二年失錯ス
ル者ハ杖八十誤寫スル者ハ笞四
十。未タ施行セサル者ハ。一等ヲ減
ス若シ官ノ文書ヲ施行スルニ。故
サラニ違フル者ハ杖八十失錯ス
ル者ハ笞五十誤寫シテ事ニ害ア
ル者ハ笞三十省臺察司府蕃縣ノ
官ハ。懲役二年。遺失シ。及ヒ誤毀
スル者ハ懲役百日院省察司府
縣ノ印ハ各二等ヲ減シ餘ノ印
ハ各五等ヲ減ス規避スル所ア
ル者ハ各重キニ從テ論ス。

文書ヲ。故サラニ違フル者ハ。並ニ
杖七十。失錯スル者ハ笞四十。誤寫
シテ事ニ害アル者ハ笞二十。餘ハ。
文書ハ各一等ヲ減ス。害アラサル
者及ヒ未タ施行セサル者ハ。並ニ
論スルヿ勿レ。

上書奏事錯誤

凡上書及ヒ奏事ニ。錯誤シテ。原免
ト言フ可シ。シテ。不免ト言ヒ。千石
ト言フ可シ。シテ。十石ト言フノ類。
事ニ害アル者ハ。笞五十。官ニ申ス
ル文書ハ。笞三十省臺察司府蕃縣
ニ申スル文書ハ。並ニ笞二十。其餘
ニ申スルノ文書ハ。笞一十。若シ申

スルトコロ錯誤アリト雖モ。文案行フ可クシテ。事ニ害アラサル者ハ。論スルヿ勿レ。

事應奏不奏

凡軍務錢糧。制度。死罪。災異。其他事奏ス可クシテ。奏セサル者ハ。杖七十。上司ニ申ス可クシテ。申セス。下司ニ行ス可クシテ。行セサル者ハ。笞三十。規避スル所アル者ハ。重キニ從テ論ス。

若シ已ニ奏シ。已ニ申シテ。回報ヲ待タス。輒ク施行スル者ハ。並ニ不奏不申ノ罪ニ同。

失誤期賀

凡朝會慶賀ヲ所司先キニ。告示セサル者ハ。笞三十。其已ニ告示ヲ承ケテ。失誤スル者モ。罪同。

失儀

凡祭祀及ヒ園陵ニ謁拜シ。若クハ朝會ニ禮ヲ行ヒテ差錯シ。及ヒ儀ヲ失スル者ハ。笞一十。

擅離職役

凡官吏疾病公差等ノ故無クシテ。擅ニ職役ヲ離レ。外ニ出ル者ハ。笞三十。若シ難ヲ避ケ。因テ逃走スル者ハ。杖九十。避ルトコロ。事重キ者ハ。各重キニ從テ論ス。

若シ官吏。直宿ス可クシニ。直宿セ、

サル者ハ。各笞一十。因テ事ヲ失スル者ハ。重ニ從テ論ス。

無故不朝參公坐

凡官員故無クシテ。朝參公坐セス。及ヒ給假ノ限滿テ。故無ク。職役ニ還ラサル者ハ。一日ニ。笞一十。三日毎トニ。一等ヲ加ヘ。罪。杖八十ニ止ル。

衝突儀仗

凡車駕。行幸ノ處ハ。近侍及ヒ護駕ノ官軍ヲ除クノ外。其餘ノ軍民ハ。並ニ迴避スヘシ。敢テ儀仗内ニ衝入スル者ハ。杖一百。

至下馬牌不下

無故不朝參公座條例

第百四條 明治九年四月十四日第四十八號御布告

一 新律綱領改定律例中職制律ヲ廢ス

但私借官物律例ハ改メテ賊盜律監守自盜ノ部ニ入ル

一 新律綱領改定律例中官吏ノ公罪ニ係ル者ヲ廢ス 公罪贓例圖公罪罰俸例圖官吏犯公罪自係犯公罪公事失錯失出入入罪及ヒ改定律例第百五十四條等ノ類

一 自今官吏職務上ノ過失ハ有心故造私罪ニ入ル者ヲ除ク

凡下馬牌ニ至リ。下ラスシテ過ル者ハ。笞四十。行宮ハ。一等ヲ減ス。

出納有違

凡官物ヲ出納シテ給收違フヿ有ル者ハ。虧餘スル所ノ物ヲ計ヘ。坐贓ヲ以テ論ス。

那移出納

凡官吏。錢糧等ノ物ヲ出納スルニ文案勘合アリテ。那移ス可ラス。若シ文案勘合ニ依ラス。那私出納シ。還テ官用ニ充ル者ハ。贓ニ計ヘ。坐贓ヲ以ニ論ス。

ノ外其本屬長官ニ任シテ懲戒処分セシム

明治九年四月十四日第三十四号御達

第一條 自今私罪ヲ除クノ外ハ官吏職務上ノ過失ハ本屬長官ニ於テ懲戒ノ權ヲ有ス可シ

第二條 懲戒ノ法三種トス第一譴責第二罪俸第三免職

第三條 譴責ハ懲戒ノ輕キモノトシテ本屬長官ヨリ譴責ヲ付ス

第四條 罰俸ハ半月ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサルノ間俸ヲ奪フ俸ヲ追スルノ法ハ毎月

給俸ノ半ヲ領置シ數滿テ大藏省ニ送付ス

第五條　懲戒ヲ以テ免職スル者ハ本屬長官ノ意見ニ從ヒ其奏任ハ具狀奏請シテ之ヲ免シ位記ヲ返上セシム

但懲戒ニ由ルニアラスシテ免職スル者ハ長官吉ヲ諭シ本人ヨリ辭職ノ願ヲ差出サシメ然ル後ニ免許スヘシ

第六條　諸省長官ハ所屬奏判官ヲ懲戒ス

第七條　府縣奏任官ハ太政大臣之ヲ懲戒ス

第八條　四等以下ノ判事ハ司法卿之ヲ懲戒ス府縣官判事無ル者ノ其所屬判任官ニ於ルハ他ノ奏任以上府縣官ノ叶議ヲ得タル後之ヲ懲戒ス

第九條　府縣長官警視長官其所屬判任官ヲ懲戒スルニ其譴責ヲ專行スルヲ得ルヲ除クノ外其罰俸免職ヲ行フハ便宜処分シテ速ニ内務卿ニ届出ヘシ府縣官判事ヲ兼ル者其所屬判任官ノ罰俸免職ヲ行フハ便宜処分シテ速ニ司法卿ニ届出ヘシ

第十條　其有心故造私罪ニ入ル

者ハ職務上ノ罪ト雖モ之ヲ司法官ニ移シ本屬長官專ニ処分スルヲ得ス

明治九年四月二十七日司法省第十四号達

官吏懲戒例第十條ニ有心故造私罪ニ入ル者ハ職務上ノ罪ト雖モ之ヲ司法官ニ移シ云々ト有之ニ付テハ以來右等ノ者ハ司法卿若クハ檢事直ニ之ヲ受ケ司法卿若クハ檢事ニ於テ其有心故造ニ非ス又律ニ照レサルヲ判スルヤハ之ヲ本屬長官ニ還付シテ其処分ニ任スヘキ儀ト可相心得此旨相達候事

明治九年六月八日御達
本年四月第三十四号官吏懲戒例ノ儀ニ付尚又左ノ通相達候

一　准官吏并ニ等外吏ハ本例ニ照シテ処分シ餘其他種々ノ名義ヲ以テ公事ニ関スル者ハ本屬長官ノ見込ヲ以テ適宜処分スヘシ

一　官國幣社神官并ニ教導職ノ過失發見スル時ハ所在地方官ヨリ其状ヲ具ノ教部省ヘ届出ヘシ

一　巡査及ヒ學校其他諸工場等ノ如キ別ニ懲罰規則有之分ハ

明治九年五月十九日第七十四號ヲ以テ改定律例中私借官物律例ヲ廢シ盧人盜家長財物律例ヲ改正スト アリ盧人盜ノ條凡合

私借官物

凡監臨。主守。私ニ監守スル所ノ官物ヲ借用シ。若クハ人ニ轉借スル者。證書ナキハ。監守盜ニ準シテ論シ。罪。流三等ニ止ル。證書アルハ。二等ヲ減ス。其監守人ニ非スシテ。借ル者ハ。常人盜ニ。二等ヲ減シ。罪。徒三年ニ止ル。若シ自已ノ物ヲ以テ。官物ニ抵換スル者。罪亦同。

本例ノ限アラス

改正私借官物律

第百五條　凡監臨。主守。監守スル所ノ。官ノ財物ヲ。私ニ借用シ。若クハ人ニ轉借シ。及ヒ自已ノ物ヲ以テ。官物ニ抵換スル者ハ。監守自盜ト罪同。其監守人ニ非スシテ借用シ。情ヲ知ル者ハ罪同シ知サル者ハ。坐セス。

私借官物條例

第百六條　凡監臨。主守監守。スル所ノ錢糧ヲ。私ニ借用シ。若クハ人ニ轉借シ。及ヒ之ヲ借ル者。事未タ發覺セスシテ。完備スル者ハ。止タ犯情ヲ量リテ。不應爲ニ問ヒ。輕重ヲ分ツ。

明治十年四月二十五日司法省丁第三十二号御達

明治九年五月第七十四號公布ヲ以テ私借官物律例ヲ被廢候ニ付右処分方ノ儀太政官ヘ伺出候処監臨守主官ノ金穀ヲ私ニ使用融通スル者監守盜ヲ以テ論スヘキ旨御指令有之候ニ付爲心得相達候事

不覺被盜條例

第百七條　凡垣牆内ニ在ル。水石等ヲ盜ミ。主守覺察ニ失スル者ハ。懲役二十日。

不覺被盜

凡倉庫内ノ物ヲ盜マレテ。主守。覺察ニ失スル者ハ。笞四十。其强盜ニ遇ヒ。防禦スト雖モ。力敵スルヿ能

ハサル者ハ論スルニ勿レ。

新律綱領目錄

戶婚律　計一十一條

違役不均
欺隱田糧
盜賣田宅
重典賣田宅
棄毀器物稼穡
立嫡違法
逐婚嫁女
毆父母夫喪
子弟私擅用財
逃亡
奴婢逃亡

改定律例目錄

戶婚律　計十四條

欺隱田糧　二條

棄毀器物稼穡　二條

立嫡違法　三條

子弟私擅用財　二條

逃亡

新律綱領

戸婚律

差役不均

凡官吏里長等差役ヲ科スルニ法ニ違ヒ。平均ナラサル者ハ。笞五十。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重ニ從テ論ス。

欺隱田糧

凡田糧ヲ欺隱シテ。版籍ニ脫漏スル者ハ。一畝ヨリ。五畝ニ至ルハ。笞三十。五畝毎ニ。一等ヲ加ヘ。罪杖一百ニ止ル。其田ハ官ニ入レ。隱ス所ノ糧ハ。數ニ依テ徵納ス。里長知テ舉サルハ。犯人ト同罪。

改定律例

戸婚律

欺隱田糧條例

第百八條　凡稅糧ヲ納ムルニ。踰ニ過フテ。完セサル者ハ。明治五年第二百八十五號布令ニ依テ處分ス。

明治七年三月十四日第二十九號布告

改定律例第百八條刑法ニ關係

盜賣田宅

凡他人ノ田宅ヲ盜賣。換易冒認。典賣スル者ハ。並ニ竊盜ニ準シテ論シ。罪。流三等ニ止ル。官ニ係ル者ハ。各二等ヲ加フ。田産。及ヒ典賣スル田價。并ニ遞年得ル所ノ花利ハ。各官ニ還シ。主ニ給ス。

重典賣田宅

凡已ニ典賣シテ。人ニ與ル田宅ヲ將テ。重子テ典賣スル者ハ。得ル所ノ價錢ヲ贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論シ。價ヲ追徵シテ主ニ還シ。田宅ハ。原ノ典買主ニ附ス。若シ重子テ典買スルノ人。及ヒ牙保。情ヲ知ル者ハ。犯人ト同罪。價ヲ追シ。官ニ入ル。知ラサル者ハ。坐セス。

其典スル所ノ田宅園林等。年限已ニ滿チ。本主。價ヲ備ヘテ。取贖スルニ。若シ典買主。事故ニ託シテ。肯セサル者ハ。笞三十。限外ニ於テ。遞年得ル所ノ花利ハ。追徵シテ。本主ニ給ス。原價ニ依テ取贖セシム。其年限滿ルト雖モ。本主。取贖スル力ナキ者ハ。此律ニ拘ラス

棄毀器物稼穡

凡人ノ器物ヲ棄毀シ。及ヒ樹木稼無之ニ付刪除候條此旨布告候事

但明治五年九月第二百八十五号布令ハ是迄ノ通可相心得事

第百九條　凡田宅販籍ノ文字ヲ變易スル者ハ。懲役一年半。財ヲ得ル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ論ス。

棄毀器物稼穡條例

第百十條　凡牛馬ヲ失防シテ。田

穡ヲ毀伐スル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論ス。官物ハ一等ヲ加フ。若シ官物ヲ遺失シ。及ヒ誤毀スル者ハ。各三等ヲ減シ。皿ニ數ヲ驗シテ追償ス。私物ヲ遺失誤毀スル者ハ。但タ償テ。罪ニ坐セス。

野ノ穀麥ヲ毀損スル者ハ。笞式十。輕ニ依リ。若シ毀損スル所ノ贓ニ計ヘテ重キ者ハ。坐贓ニ依リ。二等ヲ減シ。仍ホ毀損スル所ノ物ヲ。賠償セシム。

第百十一條　凡故ナク。河防ヲ決潰シ。水槨。石鑿ヲ毀損スル者ハ。情ヲ量リテ。不應爲ニ問ヒ輕重ヲ分ツ。

明治七年十二月九日司法省第三十号御布告

官林及ヒ社寺境内ノ官有ニ係ル竹木ヲ擅伐シテ民費ニ係ル橋梁及ヒ社寺修繕等ニ用ユル者ハ遣令輕重ニ問フテ代償ヲ

追徵ス

立嫡違法

凡嫡長子孫。亡沒疾病等ノ。故無クシテ。庶子ヲ立ル者ハ。杖七十。仍ホ嫡子ヲ改立セシム。

若シ養父母。親生ノ子ナキニ。養子捨去ル者ハ。徒二年。養父母。親生ノ子アリ。亦生父母。子ナクシテ。還ラント欲スル者ハ。聽ス。

明治七年四月廿五日司法省第八号布達

地券證書ヲ遺失誤毀スル者ハ論スル一切レ

立嫡違法條例

第百十二條　凡子女ヲ棄ル者ハ。父母養父母ヲ分タス。皿ニ。懲役百日。繼父母ハ。一等ヲ加フ。雇ヲ受ケ棄ル者ハ。懲役九十日。婦女ト雖モ。收贖スルヿヲ聽サス。

第百十三條　凡財ヲ圖リ。人ノ子女ヲ乞養シテ棄ル者ハ。懲役十年。婦女ト雖モ。收贖スルヿヲ聽サス殺ス者ハ斬

逐壻嫁女

凡無罪ノ壻ヲ逐テ。女ヲ嫁シ。或ハ再ヒ壻ヲ招ク者ハ。杖九十。其女ハ坐セス。男家ノ娶ル者。及ヒ後娶ノ壻。情ヲ知ル者ハ。同罪。知ラサル者ハ。坐セス。

匿父母夫喪

凡父母。及ヒ夫ノ喪ヲ聞キ。匿シテ居喪セサル者ハ。徒一年。

其祖父母父母死スト詐稱シ若クハ喪ニ居テ。嫁娶スル者ハ。各杖一百。

子弟私擅用財

凡同居ノ子弟私擅ニ父兄ノ財物ヲ用ユル者ハ。一十兩ニ。笞一十。一十兩毎ト二。一等ヲ加ヘ。罪。杖一百ニ止ル。

子弟私擅用財條例

第百十五條　凡同居ノ卑幼。尊長ニ由ラスシテ。私擅ニ。家ノ財物ヲ用フル者ハ。子弟私擅用財律ニ依ル。

第百十六條　凡僧尼。師ノ財物ヲ盜ム者ハ。子弟私擅用財律ニ依ル。同居ノ徒弟。相盜ム者ハ。親屬相盜律ニ依リ。凡人ニ。三等ヲ減ス。其各居ニ係ル者ハ。師弟ト雖モ。並ニ凡盜ヲ以テ論ス。

第百十四條　凡故サヲニ。墮胎スル者ハ。懲役百日。情ヲ知テ。藥ヲ賣リ。及ヒ枝術ヲ施ス者ハ。同罪。婦女ト雖モ收贖スルヿヲ聽サス。

奴婢逃亡

凡奴婢及ヒ雇人。逃亡スル者ハ。笞三十。

逃亡條例

凡本籍ヲ脱シテ。逃亡スル者ハ。杖八十。士族本ハ。一等ヲ加フ。

第百十七條　凡脱籍逃亡シテ。二年以外復歸セサル者ハ。律ニ依テ。判斷シ。華士族ハ。破廉恥甚ヲ以テ論ス。

第百十八條　凡逃亡シテ。二年以外。復歸シ。及ヒ自首スル者ハ。首免ヲ聽サスト雖モ。平民ハ。贖罪ニ處シ。華士族ハ。族ヲ復シテ。祿ヲ給セス。

第百十九條　凡逃亡スル者。再犯以上ハ一等ヲ累加シ。罪。懲役一年ニ止ル。

第百二十條　凡官廳ニ。陳告セス

シテ。私擅ニ。他管ニ出テ五十日ヲ過ル者ハ。違令重ニ問フ。

第百二十一條　凡外國ニ逃亡スル者ハ。逃亡罪ニ。二等ヲ加フ。

明治六年十一月八日司法省第百七十九号達

凡ソ官廳ニ陳告セス私擅ニ他管ニ出テ五十日以内復歸スル。者改定律例頒布以前ノ施行ニ。隨ヒ違令輕ニ問フト雖令致未。候得共第百二十條ニ於テハ違。令重ノミ掲載シ違令輕ノ罪ハ。不問ノ訳ニ有之候因テ自今五。十日以内復歸ノ者ハ其罪ヲ問ハス候條此旨更ニ相達候事

新律綱領目錄

賊盜律　計二十二條
盜大祀神御物
盜乘輿服御物
盜官文書
盜官印
盜兵器
盜園陵內草木
監守自盜
常人盜
強盜
劫囚
竊盜
盜官私牛馬

改定律例目錄

賊盜律　計三十八條
盜大祀神御物　二條
盜乘輿服御物　一條
盜官印　一條
常人盜　一條
強盜　七條
劫囚　一條
竊盜　五條
盜官私牛馬　二條

盜田野穀麥
親屬相盜
奴婢盜家長財物
恐喝取財
詐欺取財
略賣人
兇徒聚衆
夜無故入人家
盜賊竊主
共謀爲盜

親屬相盜　一條
雇人盜家長財物　二條
略賣人　六條
兇徒聚衆　四條
夜無故入人家　一條
盜賊竊主　四條

新律綱領
賊盜律
盜大祀神御物
凡大祀ノ神御物及ヒ大社ノ神寶ヲ盜ム者ハ皆絞其神御ニ供セントシテ營造未タ成ラサル者及ヒ供祭曰ニ訖リ廢闕スル者ハ皆徒二年若シ燮鬻ノ具饌呈セントシテ祀所ニ入ル、者ハ皆徒二年未タ祀所ニ入レサル者ハ皆徒一年半曰ニ廢闕スル者ハ皆杖九十釜甑刀匕ノ屬ハ各盜罪ニ一等ヲ加フ

改定律例
賊盜律
盜大祀神御物條例
第百二十二條　凡大祀大社ノ神御神寶ヲ盜ム者ハ皆絞改テ懲役終身
第百二十三條　凡伊勢神宮及ヒ宮中神殿ノ神御神寶ヲ盜ム者ハ例ニ依リ懲役終身ニ處スル外官幣國幣大社ノ神御神寶ヲ盜ム者ハ懲役十年中社ハ懲役三年小社ハ懲役二年半府縣社ハ懲役百日鄉社ハ懲役九十日賊ニ計ヘ重キ者ハ各盜罪ヲ以

盜乘輿服御物

凡乘輿ノ服御物ヲ盜ム者ハ皆絞
其服御ニ供セントスル者及ヒ既
ニ供シテ廢闕スル者若クハ食御
ニ供セントスル者ハ皆徒二年雖
ノ贓ハ皆徒一年半

盜官文書

凡官ノ文書ヲ盜ム者ハ皆杖一百
省臺寮司府藩縣ノ文書ハ並ニ二
等ヲ減シ餘ノ文書ハ各五等ヲ減
ス重事ニ關スル文書ハ各一等ヲ
加フ規避スル所アル者ハ重キニ
從テ論ス

盜官印

凡官ノ印ヲ盜ム者ハ皆流三等省
臺寮司府藩縣ノ印ハ皆徒三年餘
ノ印ハ杖八十

盜兵器

凡兵器ヲ盜ム者ハ贓ニ計ヘ竊盜
ヲ以テ論ス官ノ兵器ハ一等ヲ加
ヘ守衛ノ兵器ハ又一等ヲ加フ

盜園陵内草木

凡園陵内ノ草木ヲ盜ム者ハ皆杖
一百若シ贓ニ計ヘ本罪ヨリ重キ
者ハ各盜罪ニ一等ヲ加フ

監守自盜

凡監臨主守自ラ監守スル所ノ財

テ論ス

盜乘輿服御物條例

第百二十四條　凡乘輿ノ服御物
ヲ盜ム者ハ皆絞ニ改テ懲役終身

盜官印條例

第百二十五條　凡私ノ印ヲ盜ム
者ハ懲役七十日因テ財ヲ得ル
者ハ贓ニ計ヘ各盜罪ヲ以テ重
キニ從テ論ス

監守自盜條例

明治六年七月廿四日第二百六十七号御布告

物ヲ盗ム者ハ首從ヲ分タス贓ヲ併セテ罪ヲ論シ竊盗ニ二等ヲ加フ

一兩以下杖七十
一兩以上杖八十
一十兩以上杖九十
二十兩以上杖一百
三十兩以上徒一年
四十兩以上徒一年半
五十兩以上徒二年
六十兩以上徒二年半
七十兩以上徒三年
八十兩以上流一等
九十兩以上流二等

凡監守盗再犯スル者ハ財ヲ得スト虽モ一等ヲ加フ三犯三十圓以下懲役終身三十圓以上絞

明治六年十月十七日第三百四十九号御布告 犯姦條例ハ其部編入

監守自盗條例及犯姦條例左ノ通創定候條此旨布告候事

監守自盗條例

凡監守自盗財ヲ得サル者懲役六十日

明治九年七月十八日第百一号御布告

改定律例中左ノ條例ヲ増加シ第百二十六条ヲ刪除シ并ニ明治六年七月第二百六十七号布

一百兩以上流三等
二百兩以上絞

常人盗

凡常人官ノ財物ヲ盗ミ財ヲ得サ

告監守盗常人盗條例左ノ通改正候條此旨布告候事

監守盗常人盗條例

凡監守盗二百圓以上及ヒ常人盗三百圓以上絞ニ處スル律ヲ改メ監守盗百五十圓以上常人盗二百五十圓以上并懲役終身

監守盗條例

凡監守盗再犯スル者ハ財ヲ得スト虽モ一等ヲ加フ三犯三十圓以下懲役十年三十圓以上懲役終身

常人盗條例

第百二十六條 凡常人官ノ財物

ル者ハ笞五十贓ヲ得ル者ハ首從ヲ分タス贓ヲ併セテ罪ヲ論シ竊盜ニ一等ヲ加フ

一兩以下杖六十
一兩以上杖七十
一十兩以上杖八十
二十兩以上杖九十
三十兩以上杖一百
四十兩以上徒一年
五十兩以上徒二年半
六十兩以上徒二年
七十兩以上徒二年半
八十兩以上徒三年
九十兩以上流一等
一百兩以上流二等
一百一十兩以上流三等
二百五十兩以上絞

強盜

凡強盜兇器ヲ持セス威力ヲ以テ人ヲ劫シ財ヲ得サル者ハ皆徒二年財ヲ得ル者ハ贓ヲ併セ首從ヲ分タス罪ヲ科モ贓ヲ併セ首從ヲ分タスト雖モ皆流二等人ヲ殺ス者ハ皆斬人ヲ傷スル者財ヲ得サルハ首從ヲ分チ財ヲ得ルハ皆絞

其兇器ヲ持スル者ハ財ヲ得スト雖モ皆流二等人ヲ殺ス者ハ皆斬人ヲ傷スル者財ヲ得サルハ首從ヲ分タス贓ヲ併セ首從ヲ分タス罪ヲ科ス

改正強盜律

第百二十七條　凡強盜兇器ヲ持セス威力ヲ以テ人ヲ劫シ財ヲ得サル者ハ皆懲役二年財ヲ得ル者ハ贓ヲ分タスト雖モ贓ヲ併セ首從ヲ分タス罪ヲ科ス人ヲ殺ス者ハ皆斬人ヲ傷スル者ハ皆絞其殺傷ニ與ラサル者ハ止タ盜罪ヲ科ス

其兇器ヲ持スル者ハ財ヲ得スト雖モ皆ハ絞從ハ懲役終身財ヲ得サルハ首從ヲ分タス贓ヲ併セ首從ヲ分タス罪ヲ科ス人ヲ傷スル者財ヲ得サルハ首從ヲ分チ財ヲ得ルハ皆絞

常人盜條例

凡常人盜再犯スル者ハ財ヲ得スト雖モ一等ヲ加フ三犯四十圓以下懲役終身四十圓以上絞

（明治六年七月廿四日第二百六十七号御布告）

常人盜條例

凡常人盜再犯スル者ハ財ヲ得スト雖モ一等ヲ加ウ三犯四十圓以下懲役十年四十圓以上懲役終身

（明治九年七月十八日第百一号御布告）

ヲ分チ。財ヲ得ルハ皆斬
其藥酒等ヲ以テ人ヲ醉迷セシメ。
財ヲ圖ル者ハ。不持兇器ヲ以テ論
ス。
若シ盜ニ因テ姦スル者ハ。成否ヲ
論セス。絞。
不持兇器
五兩以下。徒二年半
五兩以上。徒三年
一十兩以上。流一等
一十五兩以上。流二等
二十兩以上。流三等
三十兩以上。絞○再犯ハ。財ヲ得
スト雖モ。絞。持兇器

ヲ得ル者ハ。皆斬。其財ヲ得スト
雖モ。人ヲ殺傷スル者。亦同シ。
其藥酒等ヲ以テ。人ヲ醉迷セシ
メ。財ヲ圖ル者ハ。不持兇器ヲ以
テ論ス。
若シ盜ニ因テ姦スル者ハ。成否
ヲ論セス。絞。
不持兇器
五圓以下。懲役二年半
五圓以上。懲役三年
十圓以上。懲役五年
十五圓以上。懲役七年
二十圓以上。懲役十年
三十圓以上。懲役終身○再犯ハ

五兩以下。流三等
五兩以上。絞
一十兩以上。斬○再犯ハ。財ヲ得
スト雖モ。斬。

財ヲ得スト雖モ。懲役終身
強盜條例
第百二十八條　凡強盜未タ室ニ
入リ財ヲ搜セス。外ニ在テ瞭望
シ。財物ヲ接遞スル者ハ。贓ヲ分
チ。分タサルヲ論セス。本犯ニ。一
等ヲ減ス。其造意者ハ。此限ニ在
ラス。
第百二十九條　凡強盜。脅誘セラ
レ。畏懼隨行シテ。室ニ入リ。贓ヲ
分ツ者ハ。本犯ニ。二等ヲ減ス。若
シ室ニ入ルト雖モ。贓ヲ分タス。
及ヒ止タ外ニ在テ瞭望シ。財物
ヲ接遞スル者ハ。贓ヲ分チ。分タ

サルヲ論セス。並ニ三等ヲ減ス。

第百三十條　凡強盜。未タ行ハス。ト雖モ。已ニ途ニ在テ。捕ニ就キ。盜情顯跡アル者。持兇器ハ。懲役三年。不持兇器ハ。懲役百日。

第百三十一條　凡強竊盜。同居ノ父母兄弟姉妹等。情ヲ知テ。贓ヲ分ツ者ハ。凡人ト同ク。分ツ所ノ贓ヲ計ヘ。竊盜ニ準シ。從ト爲シテ論ス。

第百三十二條　凡失火。及ヒ破船等ノ難ニ乘シ。財物ヲ竊取スル者ハ。竊盜ヲ以テ論シ。搶奪スル者ハ。強盜ヲ以テ論ス。

第百三十三條　凡盜犯門戶牆壁ヲ破壞シ。人ノ覺知スルコトヲ懼セサル者ハ。強盜ヲ以テ。論シ。若シ火ヲ用ヒ。鎖鑰ヲ燬損シ。及ヒ鑿鋸等ヲ以テ。戶壁ヲ穿ツトイヘドモ。強劫放火ノ情ナキ者ハ。仍ホ竊盜ヲ以テ論ス。

明治六年七月廿四日第二百六十九号御布告

強盜條例左ノ通創定候條此旨布告候事

強盜條例

凡強盜脅誘セラレ畏懼隨行ニ次ニ及フ者ハ本律ニ依テ科シ減等ノ例ヲ用ヒス

凡囚ヲ劫スル者ハ。親屬他人ヲ分タス。成否ヲ論セス。皆流二等。人ヲ傷ン。及ヒ死囚ヲ劫スル者ハ。皆絞。若シ囚ヲ竊テ逃走スル者ハ。囚ト同罪。竊テ未タ得サル者ハ。二等ヲ減ス。

竊盜

凡竊盜。財ヲ得サル者ハ。笞四十。財ヲ得ル者ハ。贓ヲ分タスト雖モ。贓ヲ併セテ。罪ヲ科ス。從タル者ハ。各一等ヲ減ス。

其臨時。捕ヘ拒ク者ハ。强盜ヲ以テ論ス。若シ事主覺逐スルニ。財ヲ棄テ逃走スルヲ追逐シ因テ捕ヲ拒ク者ハ。强盜ヲ以テ論ス。

第百三十四條　凡囚ヲ劫スル者ハ。皆流二等。人ヲ傷ン及ヒ死囚ヲ劫スル者ハ。皆絞。若シ囚ヲ竊テ逃走スル者ハ。囚ト同罪。竊テ未タ得サル者ハ。二等ヲ減ス。

竊盜條例

第百三十五條　凡竊盜。三百圓以上。及ヒ三犯五十圓以上。絞二處。傷シ及ヒ死囚ヲ劫スル者ハ。皆絞。改テ懲役終身。

第百三十六條　凡竊盜。再犯。財ヲ得サル者ハ。律ニ依リ。一等ヲ加ヘ。三犯以上。財ヲ得サル者ハ。懲役三年。

明治十年三月二日
第二十五号御布告

强盜律

凡强盜兇器ヲ持セス人ヲ殺傷スル者ハ。皆斬絞ニ処スル律ヲ改メ殺ス者ハ。斬傷スル者ハ。懲役終身。

其兇器ヲ持スル者ハ。財ヲ得スト雖モ。首ハ絞役ハ懲役終身。改テ首ハ懲役終身。役ハ懲役十年。財ヲ得ル者ハ。皆斬。改テ皆懲役終身。其財ヲ得ズト雖モ。人ヲ殺傷スル者亦同シ。改テ殺ス者皆斬傷スレ者ハ。皆懲役終身。

劫囚條例

ク者ハ。罪人拒捕律ニ依ル。

掏摸スル者。罪同。

若シ盜ニ因テ。過失傷スル者ハ。凡鬪傷ニ。一等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。絞。

一兩以下。笞五十

一兩以上。杖六十

一十兩以上。杖七十

二十兩以上。杖八十

三十兩以上。杖九十

四十兩以上。杖一百

五十兩以上。徒一年

六十兩以上。徒一年半

七十兩以上。徒二年

第百三十七條　凡二人以上。共ニ竊盜ヲ爲シ。事主ニ覺逐セラレテ。一人ハ。逃走シ。一人ハ。抗拒スレハ。抗拒スル者ヲ以テ。罪人拒捕律ニ科ス。

第百三十八條　凡事主。盜犯ヲ捕得シテ。私縱私和スル者ハ。情ヲ量リ。違式輕重ニ問ヒ。贖フヿヲ聽ス。若シ別ニ。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ニ準シ。財ヲ過スル人ハ。說事過錢ニ準シ。各重キニ從テ論ス。

第百三十九條　凡盜贓ヲ以テ。竊ニ事主ニ投還スル者ハ。未得財

八十兩以上。徒二年半

九十兩以上。徒三年

一百兩以上。流一等

一百一十兩以上。流二等

一百二十兩以上。流三等

三百兩以上。絞。○三犯。五十兩以下ハ。流三等。五十兩以上ハ。絞。

ヲ以テ論シ。懲役四十日。若シ贓。虧缺スルヿアル者ハ。虧缺スル所ノ數ヲ計ヘ。盜罪ヲ科ス。

明治六年七月二十三日第二百六十六号御布告

竊盜條例左ノ通相定候條此旨布告候事

凡竊盜四犯財ヲ得ル者ハ贓ノ多寡ヲ論セス懲役終身

明治九年五月十九日第七十四号御布告

竊盜條例

凡客廛倉戶及ヒ工人舟子脚夫馬丁車力等其寄託ヲ受ル所ノ財物ヲ盜ム者ハ并ニ竊盜ヲ以テ論シ一等ヲ加ヘ罪懲役終身

盜官私牛馬

凡常人。官ノ廐闌牧場ノ牛馬ヲ盜ム者ハ。贓ニ計ヘ。常人盜ニ準シテ論シ監守人。自ラ盜ム者ハ。監守盜ニ準シテ論シ。民間ノ牛馬ハ。竊盜ニ準シテ論ス。並ニ罪。流三等ニ止ル。

盜田野穀麥

凡田野ノ穀麥菜菓。及ヒ人ノ看守スル「無キ。器物ヲ盜ム者ハ。並ニ役一年。私ニ係ルハ。一等ヲ減ス。贓ニ計ヘ。本罪ヨリ重キ者ハ。前ニ照シ各盜罪ヲ以テ論シ。一等ヲ加フ。

第百四十一條　凡官ノ牛馬ヲ故殺スル者ハ。懲役百日。民間ノ牛馬ハ。一等ヲ減ス。若シ贓ニ計ヘ。本罪ヨリ重キ者。官ニ係ルハ。常人盜ニ準シ。私ニ係ルハ。竊盜ニ準シテ論シ。並ニ。罪。懲役十年ニ止ル。

明治十年三月二日第二十五号御布告

竊盜律

若シ盜ニ因テ過失殺スル者ハ。絞改テ懲役終身

盜官私牛馬條例

第百四十條　凡官私牧場ノ牛馬ヲ盜ム者ハ。律ニ照シテ罪ヲ科シ。懲役十年ニ止ルヲ除ク外其官ノ廐闌ノ牛馬ヲ盜ム者ハ。常人盜ヲ以テ論シ。監守人。自ラ盜ム者ハ。監守盜ヲ以テ論シ。民間廐闌ノ牛馬ハ。竊盜ヲ以テ論ス若シ盜テ殺ス者。官ニ係ルハ。懲

賊ニ計ハ。竊盜ニ準ンテ論ス。罪。流三等ニ止ル。

若シ山野ノ柴草木石ノ類。他人ノ已ニ工力ヲ用ヒテ。斫伐積聚スルヲ。擅ニ取去スル者モ。罪亦同。

親屬相盜

凡各居五等ノ親。財物ヲ相盜ム者ハ。凡人ニ。一等ヲ減ン。四等。三等。二等ノ親ハ。各一等ヲ遞減ス。若シ強盜ヲ行フ者。尊長。卑幼ヲ犯スハ。各上ニ依テ罪ヲ減ス。卑幼。尊長ヲ犯竊盜ヲ以テ論ス。若シ殺傷スハ。凡人ヲ以テ論ス。若シ殺傷スルヲアル者ハ。過誤ニ出ルト雖モ各殺傷尊長。卑幼ノ本律ニ依リ重キニ從テ論ス。

親屬相盜條例

第百四十二條　凡文武百工技藝ノ人。受業師ノ財物ヲ竊取スル者ハ。竊盜ニ準ンテ論ン。罪。懲役十年ニ止ル。其各居ニ係ル者ハ。竊盜ヲ以テ論ス。若シ強奪スル者ハ。凡人強盜ヲ以テ論ス。

若シ同居ノ卑幼。他人ヲ將井テ。已ノ家ノ財物ヲ盜ム者。卑幼ハ。私擅用財物律ニ依テ論ン。二等ヲ加フ。罪。杖一百ニ止ル。他人ハ。凡盜罪ニ一等ヲ減ス。若シ殺傷スルヲアル者ハ。各殺傷尊長。卑幼ノ本律ニ依リ。他人ハ。縱ヒ憒ヲ知ラスト雖モ強盜ヲ以テ論ス。若シ他人殺傷スル者ハ。卑幼。縱ヒ憒ヲ知ラスト雖モ。亦殺傷尊長。卑幼ノ本律ニ依リ。重キニ從テ論ス。

奴婢盜家長財物

凡奴婢。雇人。家長ノ財物ヲ盜ム者

改正雇人盜家長財物律　原奴婢盜家長財物律

凡盜ニ準シテ論ス。管守者ハ。一等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。

恐喝取財

凡恐喝シテ。人ノ財物ヲ取ル者ハ。

第百四十三條　凡雇人。家長ノ財物ヲ盜ム者ハ。常人盜ヲ以テ論シ。管守者。自ラ盜ム者ハ。監守盜ヲ以テ論ス。若シ管守者。私ニ自ラ借用シ。及ヒ人ニ轉借。餉送スル者。罪。亦同。

雇人盜家長財物條例

第百四十四條　凡客廬舍戸。及ヒ工人。舟子。脚夫。馬丁。車力等。一時雇ヲ受クル者ト雖モ。其寄託スル所ノ財物ヲ盜ムハ。並ニ管守者ト。罪同。

明治九年五月十九日第七十四號御布告

改定律例中私借官物律例ヲ廢シ

贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論シ。一等ヲ加フ。罪。流三等ニ止ル。若シ二等親以下自ラ相恐喝スル者。卑幼尊長ヲ犯スハ。凡人ヲ以テ論シ。卑幼ヲ犯スハ。親屬相盜律ニ依リ遞減シテ。罪ヲ科ス。

詐欺取財

凡官私ヲ詐欺シテ財物ヲ取ル者ハ。並ニ贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論ス。罪。流三等ニ止ル。二等親以下。自ラ相詐欺スル者モ。亦親屬相盜律ニ依リ。遞減シテ。罪ヲ科ス。

若シ監臨主守。監守スル財物ヲ。詐取スル者ハ。監守自盜ヲ以テ論ス。

雇人盜家長財物律例左ノ通改正候條此旨布告事

改正雇人盜家長財物律

凡雇人家長ノ財物ヲ盜ム者ハ竊盜ヲ以テ雇人ヲ加ヘ一等ヲ加ヘ死ニ罪懲役終身ニ止ル

明治十年二月五日司法省甲第一號御達

去明治六年十二月十日當省第百九十号布達ヲ以雇人名称ノ儀相違置候処今後戸籍届濟ノ有無ニ拘ハラス一月以上ノ期限ヲ定メ雇使スル者ハ雇人ヲ以テ論ス可ク候條此旨布達候事

ラルヽノ人ハ。坐セス。親屬ニ還付ス。和誘スル者ハ。各一等ヲ減ン。其誘セラルヽノ人ハ。各三等ヲ減ス。十歲以下ハ。和ト雖モ。略ヲ以テ論ス。

其情ヲ知テ。買フ者ハ。各賣ル者ニ一等ヲ減シ。牙保ハ。又一等ヲ減ス。

第百四十六條　凡妻ヲ略賣シテ。娼妓ト爲ス者ハ。凡人略賣法ニ依ル。和賣スル者ハ。懲役七十日。

第百四十七條　凡子孫ヲ略賣シテ。娼妓ト爲ス者ハ。懲役五十日。妹。姪。及ヒ外孫ハ。各一等ヲ加フ。

第百四十八條　凡人ヲ略シテ。自己ノ妻妾雇人ト爲ス者ハ。略賣ト罪同シ。

第百四十九條　凡人ノ妻ヲ略シテ。他人ノ妻妾ト爲シ。及ヒ自己ノ妻妾ト爲ス者ハ。懲役五年。人ノ妾ヲ略シテ妻妾ト爲ス者ハ。各一等

来タ得サル者ハ。其詐取セント欲スル數ヲ計ヘ。三等ヲ減シ罪ヲ科ス。

若シ人ノ財物ヲ。圖認シテ。己ノ物ト爲シ。及ヒ詐賺。局騙。拐帶スル者モ。亦賊ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論ス。罪。流三等ニ止ル。親屬ナラハ。亦親屬相盜律ニ依リ。遞減シテ。罪ヲ科ス。

略賣人

凡人ヲ略賣シテ。娼妓トスル者ハ。成否ヲ論セス。皆流二等。妻妾奴婢トスル者ハ。徒二年半。因テ人ヲ殺傷スル者ハ。強盜ヲ以テ論ス。略セ

略賣人條例

第百四十五條　凡人ヲ略賣シテ。雇人ト爲ス者ハ。懲役二年半。其賤孱虐使ヲ受シムル者ハ。爲娼妓律ニ依ル。

ヲ減シ。誘セラルヽ婦女ハ。各三等ヲ減ス。

第百五十條　凡人ヲ略シテ。外國人ニ賣ル者ハ。咸否ヲ論セス。皆懲役十年。因テ人ヲ傷スル者ハ。皆懲役終身。殺ス者ハ。皆斬。其和誘スル者ハ。一等ヲ減シ。誘セラルヽ人ハ。三等ヲ減ス。若シ子孫ヲ畧シテ。外國人ニ賣ル者ハ。懲役一年。和賣スル者ハ。一等ヲ減ス。和畧。未タ成ラサル者ハ。和畧ノ罪ニ。又一等ヲ減ス。賣ラルヽ卑幼ハ。和スト雖モ。坐セス。若シ外國人ヲ買フ者ハ。前ニ照シテ。各一等ヲ減ス。

兇徒聚衆條例

凡兇徒。衆ヲ聚メ。村市ヲ毀壞燒亡シ。財物ヲ劫奪シ。若クハ。人民ヲ殺死スル者。造意ハ。斬。從ハ。流三等。從ノ手ヲ下シ。人ヲ殺シ。火ヲ放ツ者ハ。絞。其止タ附和隨行シ場ニ在テ。勢ヲ助クル者ハ。論スルヿ勿レ。若シ地方ノ凶荒ニ乘シ。衆ヲ聚メ。良民ヲ擾害シ。官長ヲ挾制シ。及ヒ賑貸。稍遲キニ因テ。村市ヲ搶奪シ。官廨ニ喧鬧シ。及ヒ私憤ヲ懷挾シ。衆ヲ聚メテ。市ヲ罷メ。官ヲ辱ムル者。並ニ首ハ。絞。從ハ。流三等。其餘ノ

第百五十一條　凡兇徒聚衆ノ從ニシテ。情輕キ者ハ。懲役三年。

第百五十二條　凡附和隨行シテ。火ヲ放ツ者ハ。從ニシテ火ヲ放ツ者ニ。二等ヲ減シ。懲役十年。其脅誘セラレテ。火ヲ放ツ者ハ。懲役三年。其餘。牆屋ヲ毀ツ者ハ。不應爲重ニ間フ。其止タ場ニ在テ。勢ヲ助クル者ハ。勿論ノ律ヲ改メ。違令ニ問ヒ。輕重ヲ分チ。贖罪スルヿヲ聽ス。

第百五十三條　凡衆ヲ聚メ。訟ヲ

附隨ハ。亦論スルヿ勿レ。

夜無故入人家

凡夜故ナクシテ人家ニ入ル者ハ。笞三十。家主。卽時ニ殺死スル者ハ。論スルヿ勿レ。其已ニ拘執ニ就ク

擯ヘ。官ニ強逼スト雖モ。良民ヲ

擾害スルニ至ラザル者。首ハ懲役十年。從ハ。一等ヲ減ス。從ニシテ。情輕キ者ハ。二等ヲ減ス。

第百五十四條　凡地方官督撫ニ失シ。民衆ノ騷擾ヲ致シ。及ヒ兇徒衆ヲ聚メ。潛匿スルヿヲ覺察セス。卽テ他管ニ覺知セラルヽ者ハ。懲役百日。輕キ者ハ。懲役七十日。

夜無故入人家條例

第百五十五條　凡黑夜田野ノ穀麥菜菓ヲ竊取シ。或ハ。白日。人家ニ入リ。及ヒ市井田野。人ノ看守ヲ擅ニ殺傷スル者ハ。鬪殺傷ニ二等ヲ減ス。

盜賊竊主

凡强盜ノ竊主。造意スルハ。身同ク行ハスト雖モ。但タ贓ヲ分ツ者ハ。行フ者ト罪同若シ同ク行ハス。又

スル器物ヲ盜ムニ。事主。看守人。追捕毆打シテ。死ニ至ル者ハ。盜所ヲ離ルヽト。否ト。贓ヲ得ルト。否トヲ問ハス。懲役二年。其已ニ拘獲ニ就クヲ。復タ毆傷シ。若クハ。事後毆打シテ。擅ニ殺傷スル者。折傷以上ハ。鬪毆傷二一等ヲ減ス。若シ盜犯。兇器ヲ持シ。拒捕スルニ。卽時格鬪殺死スル者ハ。罪人拒捕律ニ依ル。

盜賊竊主條例

第百五十六條　凡盜賊タルヿヲ知テ。典賣ノ牙保ヲ爲ス者ハ。典賣スル所ノ數ヲ計ヘ。坐贓ヲ以

贓ヲ分タサル者ハ。徒ニ年。其窩主。共ニ謀テ。造意セス。同ク行ヒテ。贓ヲ分タス。及ヒ同ク行ハスシテ。贓ヲ分ツ者ハ。行フ者ト罪同。若シ行ハス。又贓ヲ分タサル者ハ。杖八十。其情ヲ知ラスシテ。暫時停歇セシムル者ハ。坐セス。

若シ竊盜ノ窩主。造意スルハ。身同ク行ハスト雖モ。但タ贓ヲ分ツ者ハ。首ト爲シテ論ス。若シ行ハス。又贓ヲ分タサル者ハ。從ト爲シテ論シ臨時主意シテ。盜ヲ爲ス者ヲ以テ首ト爲ス。其窩主。造意セス。同ク行ヒテ。贓ヲ分タス。及ヒ同ク行ハ

テ論シ。一等ヲ減ス。若シ別ニ。金ヲ受ル者ハ。竊盜ニ準シ。從ト爲シ。重キニ從テ論ス。

第百五十七條　凡典舖。盜贓タルヿヲ知ラスト雖モ。牙保ナクシテ典買スレハ物ヲ追シテ。本主ニ給ス。若シ牙保。及ヒ回曆ヲ借ス者アレハ。價ヲ償ハシム。其償フヿ能ハサル者ハ。直チニ典舖ヨリ追ス。

第百五十八條　凡恐喝詐欺。枉法。不枉法ノ贓タルヿヲ知テ。受ル者ハ。坐贓ヲ以テ論シ。故買スル者ハ。坐贓ニ。一等ヲ減シ。寄藏ス

スシテ。贓ヲ分ツ者ハ。仍ホ從ト爲シテ論ス。若シ行ハス。贓ヲ分タサル者ハ。笞三十。

其强竊盜。及ヒ畧賣。和誘ノ贓タルヲ知テ。受ル者ハ。各贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。從ト爲シテ論ス其盜贓ヲ知テ故サラニ買フ者ハ。買フ所ノ者ヲ計ヘ。坐贓ヲ以テ論ス。知テ爲ニ寄藏スル者ハ。故サラニ買フ者ニ一等ヲ減ス知ラサル者ハ並ニ坐セス

ル者ハ。又一等ヲ減ス。知ラサル者ハ坐セス。

第百五十九條　凡盜贓タルヿヲ知テ。故買スル者。再犯以上ハ。一等ヲ累加シ。罪。懲役三年ニ止ル。其知テ。寄藏シ。及ヒ牙保スル者モ。亦並ニ。一等ヲ累加シ。罪。懲役二年半ニ止ル。

明治六年六月廿五日第二百廿七号御布告

盜賊窩主律例別紙之通被定候條此旨相達候事

盜賊窩主條例

凡竊盜ノ窩主再犯以上ニ係ル者ハ律ニ照シ造意不造意同行

共謀爲盜

凡共ニ強盜ヲ爲ント謀リ。其一人。臨時行ハスシテ。餘ノ行フ者。謀ニ違ヒ。却テ竊盜ヲ爲セハ。共謀ノ造意者ハ。行ハスト雖モ贓ヲ分テハ。竊盜ノ首ト爲シ。餘人ハ。並ニ竊盜ノ從ト爲ス。若シ造意者。行ハス。又贓ヲ分タサルハ。竊盜ノ從ト爲シ。餘人ノ行ハス。又贓ヲ分タサル者ハ。並ニ笞四十。臨時主意シテ。盜ヲ爲ス者ヲ以テ竊盜ノ首ト爲ス。其共ニ竊盜ヲ爲サント謀リ。其一人臨時行ハスシテ。餘ノ行フ者。謀ニ違ヒ。却テ強盜ヲ爲セハ。造意者ハ行ハスト雖モ。贓ヲ分テハ。竊盜ノ首ト爲ス。造意者行ハス。又贓ヲ分タス。及ヒ餘人ノ行ハスシテ。贓ヲ分ツ者ハ。俱ニ竊盜ノ從ト爲シ。臨時主意シ。及ヒ共ニ強盜ヲ爲ス者ヲ以テ。首從ヲ分タス論ス。

不同行分贓不分贓ヲ分チ并ニ犯數ニ計ヘ竊盜ト同ク罪ヲ治ス

改定律例 ○

新律綱領目錄

人命律上　計一十條

謀殺

謀殺本屬長官

謀殺祖父母父母

謀殺家長

殺死姦夫

殺一家三人

賣魘人

毒藥殺人

鬪毆及故殺

屏去服食

改定律例目錄

人命律上　計二十一條

謀殺　五條

謀殺官吏　三條

謀殺祖父母父母　一條

殺死姦夫　四條

殺一家三人　一條

毒藥殺人　一條

鬪毆及故殺　五條

屏去服食　一條

新律綱領

人命律上

謀殺

凡人ヲ謀殺スルニ。造意者ハ。斬。從ニシテ。加功スル者ハ。絞。加功セサル者ハ。流三等。

若シ傷シテ死セサル造意者ハ。從ニシテ。加功スル者ハ流三等。加功セサル者ハ。徒三年

若シ謀テ已ニ行フト雖モ。未タ人ヲ傷セサル。造意者ハ。徒三年。從ハ同ク行ハスト雖モ。杖一百。

其造意者ハ。並ニ身行ハスト雖モ。仍ホ首ト爲シテ論ス。從ニシテ行フト雖モ。功セサル者ハ。徒三年

改定律例

人命律上

謀殺條例

第百六十條　凡人ヲ殺サント謀リ。未タ行ハスト雖モ。謀狀顯跡アル者。首ハ。懲役百日。從ハ。懲役五十日。

第百六十一條　凡謀殺已行未行ノ罪犯。並ニ。罪。死ニ至ラサル者。處斷シ訖レハ。親屬鄰佑ニ。再把ノ念ナキヿヲ。保證セシメ。始テ放還スルヿヲ聽ス。若シ保人ナケレハ。禁則ニ照シテ。懲治監ニ入レ。悔過ノ日ヲ待チ。始テ放還

ハサル者ハ。各行ヒテ。加功セサル者ニ。一等ヲ減ス。

若シ因テ財ヲ得ル者ハ。強盜ニ同シク。首從ヲ分タス。罪ヲ論ス。

スルコヲ聽ス。

第百六十二條　凡人ヲ殺サント謀リ。已ニ行フテ。其人。知覺奔逃シ。未タ傷ヲ受ケスト雖モ。失跌及ヒ墜水等。奔脫ニ因テ。他所ニ死スル者。造意者ハ。懲役十年。從タル者ハ。懲役三年。若シ兄弟ニ迫ラレテ。當時失跌シテ死スル者。造意者ハ。絞。從タル者ハ。懲役十年。

第百六十三條　凡人ヲ謀殺セシト欲シテ。謀ヲ舉ル時。其謀ラルヽノ人。謀機ヲ知覺シテ。卻テ謀者ヲ殺ス者ハ。故殺律ニ依リ已ニ行フ時ニ臨ミ卻テ殺ス者ハ。鬪殺律ニ依リ。論スルコト勿レ。

第百六十四條　凡嬰兒ヲ殺ス者ハ。各等親ニ照シ。謀故殺本條ニ依テ。科斷ス。若シ穩婆囑託ヲ受テ殺ス者ハ。囑託スル者ト。同罪。

謀殺本屬長官

凡吏卒軍民。本屬ノ勅任長官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者ハ。流三等。已ニ傷スル者ハ。斬。已ニ殺ス者ハ。皆梟。

若シ奏任長官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ時ニ臨ミ卻テ殺ス者ハ。罪人不拒捕而殺律ニ依リ。殺ノ時ニ臨ミ卻テ殺ス者ハ。捕吏捕殺律ニ依リ。論スルコト勿レ。

第百六十五條　凡勅任官ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。懲役十年。從ハ。懲役七年。已ニ傷スル者。首ハ。斬。從ニシテ。加功スル者ハ。懲役終身。加功セサル者ハ。懲役

行フ者ハ。流二等。已ニ傷スル者ハ。
絞。已ニ殺ス者ハ。皆斬。
若シ判任長官ヲ謀殺スルニ。已ニ
行フ者ハ。流一等。已ニ傷スル者ハ。
絞。已ニ殺ス者ハ。皆斬。
其長官及ヒ本屬ニ非ル者ハ。
殺スト雖モ。凡人謀殺ニ依リ。首從
ヲ分チ。罪ヲ科ス。

十年。已ニ殺ス者ハ。皆斬。
若シ奏任官ヲ謀殺スルニ。已ニ
行フ首ハ。懲役七年。從ハ懲役五
年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニシ
テ。加功スル者ハ。懲役終身。加功
セサル者ハ。懲役十年。已ニ殺ス
者ハ。皆斬。
若シ判任官ヲ謀殺スルニ。已ニ
行フ者。首ハ懲役五年。從ハ。懲役
三年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニ
シテ。加功スル者ハ。懲役終身。加
功セサル者ハ。懲役十年。已ニ殺ス
者ハ。皆斬。

謀殺官吏條例

第百六十六條　凡判任官。勅任官
ヲ謀殺スルニ。已ニ行フ者。首ハ。
懲役七年。從ハ懲役五年。已ニ傷
スル者。首ハ。絞。從ニシテ。加功ス
ル者ハ。懲役終身。加功セサル者
ハ。懲役五年。已ニ殺ス者ハ皆斬。
若シ奏任官ヲ謀殺スルニ。已ニ
行フ者。首ハ。懲役五年。從ハ。懲役
三年。已ニ傷スル者。首ハ。絞。從ニ
シテ加功スル者ハ懲役終身。加
功セサル者ハ。懲役五年。已ニ殺
ス者ハ皆斬。

第百六十七條　凡奏任官。勅任官
ヲ謀殺スル者ハ。判任官奏任官

謀殺祖父母父母

凡祖父母父母及ヒ伯叔父姑兄姉若クハ外祖父母夫夫ノ祖父母父母ヲ謀殺スル二已ニ行フ者ハ皆梟三等親以下ノ尊長ヲ謀殺スル二已ニ行フ者首ハ流一等從ハ徒三年已ニ傷スル者首ハ絞從ハ加功スル者加功セサル者並ニ凡人ト同ク罪ヲ論ス已ニ殺ス者ハ皆斬

第百六十八條　凡祖父母父母及ヒ伯叔父姑兄姉若クハ外祖父母夫夫ノ祖父母父母ヲ謀殺シ已ニ行フ者ハ皆梟三等親以下ノ尊長ヲ謀殺スル二已ニ行フ者首ハ流一等從ハ徒三年已ニ傷スル者首ハ絞從ハ加功スル者加功セサル者並ニ凡人ト同ク罪ヲ論ス已ニ殺ス者ハ皆斬

明治十四年四月廿六日第四號布告

謀殺祖父母父母律第二項內左ノ通改正候條此旨布告候事

謀殺祖父母父母律

若シ五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律內尊長故殺卑幼律ニ依リ一等ヲ減ス已ニ傷スル者ハ一等ヲ減ス已ニ殺ス者ハ故殺律ニ依ル

謀殺家長

凡奴婢家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流三等已ニ傷スル者ハ斬已ニ殺ス者ハ皆梟

若シ雇人家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流一等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

殺死姦夫

凡妻妾人ト姦通スルニ本夫姦所

若五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律內尊長故殺卑幼律ニ依リ一等ヲ減ス已ニ傷スル者ハ一等ヲ減ス已ニ殺ス者ハ故殺律ニ依ル

謀殺家長

凡奴婢家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流三等已ニ傷スル者ハ斬已ニ殺ス者ハ皆梟

若シ雇人家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流一等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

殺死姦夫

凡妻妾人ト姦通スルニ本夫姦所

若五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律內尊長故殺卑幼律ニ依リ一等ヲ減ス已ニ傷スル者ハ一等ヲ減ス已ニ殺ス者ハ故殺律ニ依ル

謀殺家長

凡奴婢家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流三等已ニ傷スル者ハ斬已ニ殺ス者ハ皆梟

若シ雇人家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流一等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

殺死姦夫

凡妻妾人ト姦通スルニ本夫姦所

若五等親以上ノ尊長卑幼ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ各鬪毆律內尊長故殺卑幼律ニ依リ一等ヲ減ス已ニ傷スル者ハ一等ヲ減ス已ニ殺ス者ハ故殺律ニ依ル

謀殺家長

凡奴婢家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流三等已ニ傷スル者ハ斬已ニ殺ス者ハ皆梟

若シ雇人家長ヲ謀殺スルニ已ニ行フ者ハ流一等已ニ傷スル者ハ絞已ニ殺ス者ハ皆斬

殺死姦夫條例

第百六十九條　凡姦夫自ラ本夫

ニ於テ。親ラ姦夫姦婦ヲ獲テ。即時ニ殺ス者ハ論スルヿ切レ。若シ本夫。止タ姦夫ヲ殺ス者ハ。姦婦ハ。和姦律ニ依リ罪ヲ科ス。止タ姦婦ヲ殺ス者ハ。姦夫ハ流三等本夫ハ。並ニ論スルヿ切レ。

其妻妾姦ニ因リ同謀シテ。本夫ヲ殺ス者ハ。梟。姦夫ハ。斬。若シ姦夫。自ラ本夫ヲ殺ス者ハ。姦婦。情ヲ知ラスト雖モ。絞。

ヲ殺ス者ハ。姦婦。情ヲ知ラスト雖モ。絞。改テ懲役終身。

第百七十條　凡姦婦。自ラ本夫ヲ殺ス者。姦夫。果シテ情ヲ知ラサレハ。止タ姦罪ヲ科ス。

第百七十一條　凡姦婦。過ヲ悔ヒ拒絶スル後。姦夫。姦好ノ續キ難キヲ憤リ。本夫。及ヒ。祖父母。父母ヲ殺死スル者。拒絶ノ證據。明白ナレハ。婦女ハ。止タ姦罪ヲ科ス

第百七十二條　凡姦夫。姦婦。姦所ニ於テ。本夫ニ撞見セラレ。直ニ脱逃スルニ。本夫。即時逐テ門外ニ至リ殺ス者ハ。姦所ト同シ。若シ姦所。及ヒ即時ニ非スシテ。姦夫ヲ殺傷スル者。審糾スルニ姦情確實ナレハ。鬪殺傷ニ。二等ヲ減ス。止タ姦婦ヲ殺傷スル者。折傷以上ハ。鬪殺傷ニ。五等ヲ減ス。姦夫ハ。和姦本條ニ依ル。若シ姦情曖昧。確據ナクシテ男婦ヲ殺傷スル者ハ。各謀故鬪殺傷本條ニ依ル。

殺一家三人條例

第百七十三條　凡一家ノ死罪ニ非サル。三人以上ヲ殺スト稱スルハ。雇人ト雖モ。同居ニ係ル者及ヒ同居セスト雖モ。父子兄弟

殺一家三人

凡謀殺。故殺。放火。行盜シテ。一家ノ死罪ニ非サル。三人以上ヲ殺シ。若クハ人ヲ支解スル者ハ。皆梟。

魘魅人

凡魘魅ヲ行ヒ。符書ヲ造リ。呪詛シテ。人ヲ殺サント欲スル者ハ。各謀殺ヲ以テ論ス。止タ人ヲ厭詛セシメント欲スル者ハ。謀殺已行未傷ニ二等ヲ減ス。

書藥殺人

凡毒藥ヲ用ヒテ。人ヲ殺シ。及ヒ藥シテ。死セサル者ハ。各謀殺律ニ依テ論ス。買テ求タ用ヒサル者ハ。絞二年半。情ヲ知テ。書藥ヲ賣ル者ハ。同罪。流三等ニ止ル。知ラサル者ハ。坐セス。

等至親ニ係ル者。皆是ナリ。

書藥殺人條例

第百七十四條　凡人ヲ殺スノ心ナシト雖モ。書藥ヲ用ヒテ。故ラニ疾苦セシムル者ハ。懲役八十日。

鬪毆及故殺

凡鬪毆シテ。人ヲ殺ス者ハ。手足他物。金刃ヲ問ハス。並ニ絞。故殺スル者ハ。斬。

若シ同ク謀リ。共ニ人ヲ毆チ。因テ死ニ致スニ。手ヲ下シ。致命傷ヲ爲ス者ハ。絞。源謀者ハ。共ニ毆ト否ヲ問ハス。流三等。餘人ハ手ヲ下スト雖モ。致命傷ヲ爲サヽル者ハ。杖九十。

鬪毆及故殺條例

第百七十五條　凡鬪毆人ヲ殺ス者ハ。絞。改テ懲役終身。

第百七十六條　凡亂毆シテ。人ヲ殺シ。傷ノ先後輕重ヲ知ラサル者。原謀アレハ。原謀者ヲ。懲役終身ニ處ス。若シ原謀。共ニ毆サレハ。初鬪者ヲ懲役終身ニ處シ。原謀者ハ。懲役十年。餘人ハ。並ニ。懲役九十日。

第百七十七條　凡亂毆シテ。人ヲ殺シ。先後輕重ヲ知ラサル者。若クハ。原謀。同毆。共ニ毆テ。各致命重傷ヲ爲ス者。一人。實ニ罪ヲ畏

レテ自盡シ。及ヒ已ニ獄ニ在リ。或ハ。押解中途ニ在リテ。病斃スル者アレハ。一等ヲ減シ。懲役十年ニ處ス。

第百七十八條　凡同謀。共ニ人ヲ毆チ。傷皆致命ニシテ。即時身死スレハ。後ニ手ヲ下シ傷ヲ成スヿ重キ者ヲ。懲役終身ニ處ス。若シ時日ヲ經テ。身死スルニ至ル者ハ。何傷死ニ致スヿヲ究明シテ。傷ヲ成スヿ重キ者ヲ。懲役終身ニ處ス。若シ原謀。共ニ毆テ。ホン致命重傷ヲ爲スニ係ラハ。原謀者ヲ。懲役終身ニ處ス。

第百七十九條　凡人ト爭論鬪毆シテ。臨時殺意ヲ起シ。人ヲ殺ス者ハ。故殺ニ坐ス。若シ爭鬪ノ後。仍ホ餘怒ヲ尋キ。追逐シテ。兇殺シ。及ヒ爭鬪ニ因ルニ非スト雖モ。臨時殺意ヲ起シテ。殺ス者。猶謀ノ顯跡ナキハ。並ニ故殺ヲ以テ論ス。其傷シテ。死セサル者ハ。仍ホ鬪毆傷ニ依ル。

屏去服食條例

第百八十條　凡人ノ服用飲食ノ物ヲ屏去シ。若クハ。物ヲ以テ人ノ耳鼻。及ヒ孔竅中ニ置キ。因テ死ニ至ル者ハ。絞。改テ懲役終身。

凡人ノ服用飲食ノ物ヲ屏去シ。若クハ。物ヲ以テ人ノ耳鼻。及ヒ孔竅中ニ置キ。傷損スル所アル者ハ。各ノ

止ル。因テ死ニ至ル者ハ。絞。

若シ故サラニ。蛇蝎毒蟲ヲ用ヒ。人ヲ攻傷セシムル者ハ。鬪毆傷二。一等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。因テ死ニ致ス者ハ。斬。

若シ謀故ノ情アル者ハ。各本律ニ依ル。

新律綱領目錄

人命律下　計一十六條

戯殺傷人一
誤殺傍人一
詐稱殺人
過失殺傷人一
毆死有罪妻妾
殺奴婢一
將屍圖賴
弓銃殺傷人一
車馬殺傷人一
庸醫殺傷人一
威逼致死
瘋癲殺人

改定律例目錄

人命律下　計二十七條

過失殺傷人　二條
毆死有罪妻妾　一條
殺雇人　二條
將屍圖賴　一條
弓銃殺傷人　三條
車馬殺傷人　二條
瘋癲殺人　六條

謀同死　二條

私和人命　一條

移地界内死屍　六條

同行知有謀害　一條

新律綱領

人命律下

戯殺傷人

凡戯ニ因テ人ヲ殺傷スル者ハ。闘殺傷ニ二等ヲ減ス。若シ高ニ乗リ。危ヲ履ミ。因テ相戯レ殺傷スル者。ハ。一等ヲ減ス。

誤殺傍人

凡鬪毆シテ。誤テ傍人ヲ殺傷スル者ハ。鬪殺傷ニ準シテ論ス。罪。流三等ニ止ル。

其謀殺故殺ヲ行ヒ。誤テ傍人ヲ殺ス者ハ。故殺ヲ以テ論シ。傷スルハ。仍ホ鬪毆ヲ以テ論ス。

改定律例

人命律下

詐稱殺人

凡津河。水深ク泥淖ナルヲ。平淺ト詐稱シ。及ヒ橋梁渡船。杭漏ナルヲ牢固ト詐稱シ。人ヲ過渡セシメ。因テ溺死傷ニ致ス者ハ。鬪殺傷ヲ以テ論ス。

過失殺傷人

凡過失ニテ。人ヲ殺傷スル者ハ。各第百八十一條　凡過失殺傷收贖ハ。官吏。華士族。平民ヲ分タス一圓ニ。本圖ニ照シ。追シテ。其家ニ給ス。

過失殺傷人條例

第百八十二條　凡一人ヲ。二人ヲ。過失殺スル者ハ。例ニ照シ。金八十圓ヲ收贖シテ。均シク二人ニ分給シ。二人。一人ヲ過失殺スル者ハ。金四十圓ヲ二人ニ分追シテ。一人ニ給付ス。一人。二人ヲ傷シ。二人一人ヲ傷スル者モ。亦此例ニ依ル。

毆死右罪妻妾

凡妻妾。夫ノ祖父母。父母。ヲ毆罵スルニ因テ。夫。官ニ告ケス。擅ニ殺スル者ハ。杖九十。祖父母。父母。ノ親ラ告ルヲ待テ。乃坐ス。

若シ夫。罪アル妻妾ヲ毆罵シ。妻妾。因テ自死スル者ハ。論スルコト勿レ。

殺奴婢

凡奴婢。死罪ヲ犯スニ。家長。官ニ告

毆死右罪妻妾條例

第百八十三條　凡妻妾。夫ノ祖父母。父母。ヲ毆罵スルニ因テ。夫。官ニ告ケス。擅ニ殺スル者ハ。杖九十。徒一年。其殺スルニ因テ擅ニ殺ス者ハ。懲役九十日。

改正殺雇人律　原殺奴婢律

第百八十四條　凡雇人。死罪ヲ犯

ケス。擅ニ殺ス者ハ。杖七十。

若シ罪ナキニ。毆殺スル者ハ。徒三年。故殺スル者ハ。流二等。

若シ家長。雇人ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スル勿レ。折傷以上ハ。

凡人ニ三等ヲ減ス因テ死ニ至ル者ハ。流一等。故殺スル者ハ。絞。

將屍圖賴

凡祖父母。父母。子孫ヲ故殺シ。及ヒ家長。奴婢ヲ故殺シテ。人ニ圖賴スル者ハ。各本罪ニ一等ヲ加フ。

若シ子孫。及ヒ奴婢。已ニ死スル。祖父母。父母。及ヒ家長ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。徒三年。二等親ノ尊長ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。徒二年。三等親以下ノ尊長ハ。各一等ヲ遞減ス。

若シ尊長。已ニ死スル卑幼。及ヒ他人ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。杖八十。

共官ニ告ル者ハ。誣告律ニ依テ罪ヲ論ス。因テ財物ヲ詐リ取ル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ之ヲ科ス。

弓銃殺傷人

凡故ナク。弓箭銃砲ヲ放チ。及ヒ劍刃ヲ挺ク者ハ。人ヲ傷セスト雖モ。杖六十。傷スル者ハ。凡鬪傷ヲ以テスニ。家長。官ニ告ケス。擅ニ殺ス者ハ。懲役八十日。

第百八十五條　凡家長。雇人ヲ毆チ。死ニ至ル者ハ。流一等。改テ懲役十年。

將屍圖賴條例

第百八十六條　凡雇人。已ニ死スル家長ノ屍ヲ將テ。人ニ圖賴スル者ハ。懲役百日。

改正弓銃殺傷人律

第百八十七條　凡故ナク。弓箭銃砲ヲ放チ。及ヒ劍刃ヲ挺ク者ハ。人ヲ傷セスト雖モ。杖六十。改テ

論ス。因テ死ニ致ス者ハ。絞。士族ハ卒。破廉恥甚者ヲ以テ論ス。

車馬殺傷人

凡故ナク街市ニ車馬ヲ馳驟シ。因テ人ヲ傷スル者ハ。凡鬪傷ニ一等

懲役三十日。傷スル者ハ。凡鬪毆傷ヲ以テ論ス。因テ死ニ致ス者ハ。絞。改テ懲役終身。

第百八十八條　凡曠野無人ノ地ニ於テ。故ナク弓銃ヲ放チ。因テ人ヲ殺傷スル者ハ。過失殺傷ヲ以テ論ス。

第百八十九條　凡弓銃ヲ放チ。及ヒ劍刃ヲ挺ク者。華士族ハ。破廉恥甚ヲ以テ論スル律ヲ改メ。一體ニ。閏刑ニ處ス。

車馬殺傷人條例

第百九十條　凡深山曠野。猛獸ノ往來スル處ニ於テ。阬穽ヲ穿作シ。及ヒ窩弓ヲ安置シテ。望筭。及ヒ抹眉索ヲ立サル者ハ。懲役四十日。以テ人ヲ傷スル者ハ。鬪毆傷ニ四等ヲ減ス。減シテ本罪ヨリ輕キ者ハ。本罪ニ依テ論シ。死ニ致ス者ハ。懲役三年。仍ホ埋葬金二十五圓ヲ追シテ。死者ノ家ニ給付ス。若シ馬驚逸シ。或ハ公務ノ急速ニ因リ馳驟シテ。人ヲ殺傷スル者ハ。過失ヲ以テ論シ。法ニ依リ收贖シテ。其家ニ給付ス。

第百九十一條　凡窩弓。人ヲ殺ス者。例ニ依リ。罪ヲ科スト雖モ。貧困ニシテ。埋葬金ヲ追スル能ハサレハ。其屬工錢ノ全數ヲ領

庸醫殺傷人

凡庸醫。鍼藥ヲ用ヒ。誤テ本方ニ依ラス。因テ死ニ致ス者ハ。過失殺ヲ以テ論シ。法ニ依リ收贖シテ。其家ニ給付シ。醫ヲ行フヿヲ許サス。若シ故サラニ本方ニ違ヒ。疾病ヲ詐療シテ。財物ヲ取ル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シテ論ス。因テ死ニ致シ。及ヒ事ニ因テ。故サラニ藥ヲ用ヒ。人ヲ殺ス者ハ。斬。

威逼致死

置シ。食費ヲ除キ。餘ル所ノ雇錢。金二十五圓ニ滿レハ。死者ノ家ニ給シ。仍ホ役限ハ。本法ヲ盡ス。

凡戸婚。田宅。錢債等ノ事ニ因テ。人ヲ威逼シテ。自死ニ致ス者ハ。杖一百。若シ。官吏公使人等。公務ニ因ルニ非スシテ。平民ヲ威逼シ。因テ自死ニ致ス者モ。罪同。並ニ埋葬金二十五兩ヲ追給ス。

若シ姦ヲ行ヒ。盜ヲ爲スニ因テ。人ヲ威逼シテ。自死ニ致ス者ハ。姦ノ成否ヲ論セス。財ノ得否ヲ間ハス。並ニ斬。

瘋癲殺人

凡瘋癲人。人ヲ殺ス者ハ終身鎖錮仍ホ埋葬金二十五兩ヲ追取シ。死者ノ家ニ給付ス。若シ二命以上ヲ。

瘋癲殺人條例

第百九十二條　凡瘋癲人。人ヲ殺シ。埋葬金二十五圓ヲ追スル者。改テ。過失殺收贖例ニ照シ。四十

連殺スル者ハ。縊。其親屬。看守嚴ナラスシテ。他人ヲ殺死スルニ致ス者ハ。杖九十。

若シ瘋癲ヲ假リ。人ヲ殺傷スル者ハ。謀故殺傷ニ依テ之ヲ科ス。

圓ヲ追シテ。死者ノ家ニ給付ス。

其人ヲ傷スル者ハ。並ニ過失傷收贖例ニ照シ。追シテ傷者ニ給シ。醫藥ノ資ト爲ス。

第百九十三條　凡瘋癲人。二命以上ヲ連殺スル者ハ。絞。監候。鎖錮終身。

第百九十四條　凡瘋癲人。祖父母。父母ヲ殺ス者ハ。鎖錮終身。

第百九十五條　凡瘋癲人。人ヲ殺ス者ハ。鎖錮終身ニ處スト雖モ。

若シ果シテ。痊愈スレハ。親屬鄰佑ノ保證ヲ取リ。懲役五年ニ改正シ。限滿テ放還ス。

謀同死

凡姦夫。姦婦。同死ヲ商謀スルニ。姦婦已ニ死シ。姦夫未タ死セス。姦夫已ニ死シ。姦婦未タ死セサル者ハ。並ニ流三等。

若シ同ク謀リ。藥ヲ用ヒテ。墮胎スル。

第百九十六條　凡瘋癲人。自殺ヲ致スニ。看守人。失察スル者ハ。懲役二十日。若シ人ヲ傷スルニ至ラシムル者ハ。懲役四十日。

第百九十七條　凡瘋癲人。人ヲ殺ス者。孤獨貧困ニシテ。親屬ノ保管スル者ナケレハ。鎖鋼ヲ禁獄ニ換ヘ。埋葬金ヲ追セス。

謀同死條例

第百九十八條　凡姦夫。姦婦。同ク謀リ。墮胎スルニ。姦婦。身死スル者。姦夫ハ。流三等。改テ懲役三年。

第百九十九條　凡姦夫。姦婦。同死ヲ謀リ。傷スト雖モ。人ニ阻救セ

ルニ。姦婦。身死スル者。姦夫ハ。流三等。

私和人命

凡祖父母。父母。及ヒ夫。若クハ家長。人ニ殺サレテ。子孫。妻妾。及ヒ奴婢。私和スル者ハ。徒三年。二等親ノ尊長。人ニ殺サレ。私和スル者ハ。徒二年。三等親以下。各一等ヲ遞減ス。其卑幼。人ニ殺サレテ。尊長私和スル者ハ。各等親ニ依テ。卑幼ノ罪ニ。一等ヲ減ス。若シ妻妾。子孫。及ヒ子ノ婦。奴婢。人ニ殺サレ。祖父母。父母。夫。家長。私和スル者ハ。杖八十。財ヲ受ル者ハ。並ニ贓ニ計ヘ。竊盜ニ。ラレ。未タ死セサル者ハ。鬪毆傷ニ。一等ヲ減ス。

私和人命條例

第二百條　凡家長。人ニ殺サレ。雇人。私和スル者ハ。懲役百日。若シ雇人。人ニ殺サレ。家長。私和スル者ハ。懲役七十日。

準シ。重キニ從テ之ヲ科ス。常人。他人ノ爲メニ人命ヲ私和スル者ハ。杖六十。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ニ準シ。重キニ從テ之ヲ科ス。

移二地界內死屍一

凡地界內ニ。死屍アルヲ。里長。地主。鄰佑人。官司ニ申報セス。輒ク他所ニ移シ。及ヒ埋藏スル者ハ。杖七十。水中ニ棄ル者ハ。杖一百。因テ衣服ヲ盜取スル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ論ス。罪。流三等ニ止ル。

移二地界內死屍一條例

第二百一條　凡墳塚ヲ發掘シテ。棺槨ヲ見ハス者ハ。懲役一年。已ニ開テ。屍ヲ見ハス者ハ。懲役三年。屍ヲ殘毀スル者ハ。懲役五年。

第二百二條　凡地界內ニ。死屍ア。ルヲ。輒ク水中ニ棄ルト雖モ。未タ屍ヲ失ハサル者。律ニ照シテ。一等ヲ減シ。懲役九十日。

第二百三條　凡子孫ノ死屍ヲ棄

同行知有謀害

凡同伴人。他人ヲ謀害セント欲スルヲ知テ。即チ阻當救護セス。及ヒ害セラルヽノ後。官司ニ首告セサル者ハ。杖九十。

同行知有謀害條例

第二百七條　凡同行謀害アルヲ知テ。阻當救護セスト雖モ。已ニ害セラルヽ後。首告スル者ハ。其罪ヲ免ス。

ル者ハ。懲役七十日。

第二百四條　凡變死ニ係ル屍ハ。官ノ檢視ヲ經ルニ非レハ。私擅ニ埋葬スルヲ聽サス。違フ者ハ。懲役四十日。

第二百五條　凡人ヲ押解シ。中途ニ在リテ病斃スルヲ。輒ク棄去ル者ハ。移地界內。屍律ニ一等ヲ加ヘ。懲役八十日。

第二百六條　凡地界內ニ。棄兒アリ。及ヒ病ニ因リテ。昏倒スルヲ。輒ク他所ニ移ス者ハ。懲役七十日。

新律綱領目錄

鬪毆律 計一十四條

鬪毆

宮殿內忿爭

毆本屬長官

拒毆官司差人

毆受業師

威力制縛

毆家長

毆夫

毆傷妻妾

毆三等親以下尊長

毆二等親尊長

毆祖父母父母

改定律例目錄

鬪毆律 計二十六條

鬪毆 七條

宮殿內忿爭 一條

毆官吏 三條

毆受業師 一條

毆家長 二條

毆夫 一條

毆傷妻妾 一條

毆三等親以下尊長 二條

毆二等親尊長 二條

毆祖父母父母 三條

妻妾與夫親屬相毆 一條

父祖被毆

妻妾與夫親屬相毆 一條

父祖被毆 二條

新律綱領

鬪毆律

鬪毆

凡鬪毆手足ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サヽル者ハ笞二十傷ヲ成シ及ヒ瓦石棒棒等ヲ以テ人ヲ毆チ傷ヲ成サヽル者ハ笞三十傷ヲ成ス者ハ笞四十血耳目中ヨリ出テ及ヒ内損シテ吐血スル者ハ杖八十人ノ一指一齒ヲ折リ一目ヲ眇ニシ耳鼻ヲ扶毀シ若クハ骨ヲ破リ及ヒ湯火ヲ以テ人ヲ傷スル者ハ杖一百織物ヲ以テ口鼻内ニ灌入スル者モ罪亦同二指二齒以上ヲ

改定律例

鬪毆律

鬪毆條例

第二百八條 凡鬪毆成傷ト稱スルハ毆ツ所ノ皮膚色青赤ニシテ腫起スル者ヲ謂フ刀ヲ持シ人ヲ傷スト雖モ其背柄ヲ以テ毆チ刃ヲ用ヒサレハ仍ホ搥棒ト同ク論ス

第二百九條 凡鬪毆髮方寸以上ヲ拔ク者ハ懲役四十日若シ一時昏絶セシムル者ハ懲役八十日

第二百十條 凡二人共ニ人ヲ毆

折リ。及ヒ髻ヲ毀スル者ハ。徒一年。
人ノ肋ヲ折リ。両目ヲ瞎ニシ及ヒ
刃傷スル者ハ。徒二年。
人ノ肢體ヲ折跌シ。及ヒ一目ヲ瞎
シ。廢疾ニ致ス者ハ。徒三年。
両目ヲ瞎シ。両肢ヲ折リ。及ヒ舊患
アルヲ毆チ。因テ篤疾ニ至ラシメ。
若クハ舌ヲ斷チ。陰陽ヲ毀敗スル
者ハ。流三等。仍ホ金二十両ヲ追給
シテ。養贍セシム
其同謀共毆シテ。人ヲ傷スル者ハ。
各手ヲ下シ。重傷ヲ成ス者ヲ以テ。
重罪ニ坐シ。原謀者ハ。手ヲ下スト
雖モ。傷輕ケレハ。一等ヲ減ス。
各一目ヲ瞎シ。盲ニ至ラシム
ル二。先キニ毆ツ者ハ。廢疾律ニ
依リ。懲役三年。後ニ毆ツ者ハ。篤
疾律ニ依リ。懲役十年。仍ホ養贍
金ヲ。二人ニ分追ス。若シ原謀者
アレハ。倶ニ毆ツトキハ。ト問ハ
ス。後ニ毆ツ者ニ。一等ヲ減ス。
第二百十一條　凡婦女ヲ毆チ墮
胎セシムル者ハ。懲役二年。
第二百十二條　凡鬪毆。人ヲ殺ス
ニ。後ニ手ヲ下シテ。理直ナル者
ハ。律ニ照シテ。懲役十年ニ科シ。
仍ホ事情原諒ス可キ者ハ。又一
等ヲ減ス。

若シ鬪ニ因テ。互ニ相毆傷スル者
ハ。各其傷ノ輕重ヲ驗シテ。罪ヲ定
ム。後ニ手ヲ下シテ。理直ナル者ハ。
本罪ニ二等ヲ減ス。篤疾ニ至ラシ
ムル者ハ。仍ナ金二十両ヲ追給シ
テ。養贍セシム。死ニ至ル者ハ。流三
等。理葬金二十五両ヲ追給ス。兄姉
伯叔ヲ毆ツ者ハ。水律ニ依リ。後ニ
手ヲ下シテ。理直ナル者モ。減セス。

宮殿内忿爭

凡宮殿内ニ於テ。忿爭スル者ハ。笞
五十。相毆ツ者ハ。杖一百。折傷以上
ハ。凡鬪傷ニ二等ヲ加フ。罪流三等
ニ止ル。刃ヲ以テ相向フ者ハ。流一
第二百十三條　凡鬪毆傷スル者
ハ。各其傷ノ輕重ヲ驗シテ。罪ヲ定
下シテ。理直ナル者ハ。減等シテ
罪ヲ科シ。仍ホ。養贍埋葬金兩ヲ
追給スル律ヲ改メ。止タ其罪ヲ
科シテ。金圓ヲ追セス。
第二百十四條　凡鬪毆。人ヲ傷ス
ル二。鎗刀。等刀等ヲ用ヒ。傷輕キ
者ハ。懲役七十日。仍ホ輕キ者ハ。
三等ヲ減ス

宮殿内忿爭條例

第二百十五條　凡皇城門ニ。擅入
スル者ハ。懲役五十日。宮殿ニ擅
入スル者ハ。懲役百日。

等。

毆本屬長官

凡吏卒軍民。本屬ノ勅任長官ヲ毆ツ者ハ。流一等。傷スル者ハ。流三等。折傷以上ハ。絞。其長官ニ非ル。勅任官ヲ毆ツ者ハ。徒二年半。傷スル者ハ。流二等。折傷以上ハ。流三等。廢疾ハ。絞。

若シ奏任長官ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷以上ハ。流二等。廢疾ハ。絞。其長官ニ非ル。奏任官ヲ毆ツ者ハ。徒一年。傷スル者ハ。徒二年。折傷以上ハ。流一等。廢疾ハ。流二等。篤疾ハ。絞。

若シ奏任長官ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷以上ハ。流二等。廢疾ハ。絞。其長官ニ非ル。奏任官ヲ毆ツ者ハ。徒一年。傷スル者ハ。徒二年。折傷以上ハ。流一等。廢疾ハ。流二等。篤疾ハ。絞。

若シ判任長官ヲ毆ツ者ハ。杖九十。傷スル者ハ。徒一年。折傷以上ハ。徒三年。廢疾ハ。流一等。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。並ニ。斬。

其本屬ニ非ル者ハ。各二等ヲ減ス。減シテ。罪。凡鬪ヨリ輕ク。若クハ等シキ者ハ。凡鬪ニ。一等ヲ加ヘ。加ヘテ死ニ入ル。

毆官吏律原毆本屬長官律

第二百十六條　凡勅任官ヲ毆ツ者ハ。懲役五年。傷スル者ハ。懲役十年。折傷以上ハ。絞。

若シ奏任官ヲ毆ツ者ハ。懲役二年。傷スル者ハ。懲役三年。折傷以上ハ。懲役七年。廢疾ハ。絞。

若シ判任官ヲ毆ツ者ハ。懲役九十日。傷スル者ハ。懲役一年。折傷以上ハ。懲役三年。廢疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ並ニ。斬。

毆官吏條例

第二百十七條　凡判任官。勅任官ヲ毆ツ者ハ。懲役九十日。傷スル者ハ。懲役一年半。折傷以上ハ。懲役五年。廢疾ハ。絞。若シ奏任官ヲ毆ツ者ハ。懲役七十日。傷スル者

ル者ハ。斬。

毆受業師

凡文武百工技藝ノ人。受業師ヲ毆ツ者ハ。凡鬪傷ニ二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。斬。

威力制縛

凡威力ヲ以テ。人ヲ制縛シ。及ヒ私家ニ於テ。拷打監禁スル者ハ。各傷ヲ毆ハス。並ニ杖一百。折傷以上ハ。各凡鬪傷ニ二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。死ニ致ス者ハ。絞。

若シ威力ヲ以テ。他人ヲ指使シ。毆打セシメ。死傷ニ致ス者ハ。並ニ指使人ヲ以テ首ト爲シ。下手ノ人ハ。

毆受業師條例

第二百十九條　凡受業師ヲ毆テ。死ニ至ル者ハ。斬。改テ。懲役終身。

指毆官司差人

凡官司人ヲ所屬ニ差遣シ。錢糧ヲ追徵シ。公事ニ勾攝スルニ。抗拒シテ服セサル者ハ。杖六十。毆ツ者ハ。杖八十。內損以上ハ。各凡鬪傷ニ二等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ。止ル。死ニ至ハ。懲役三百日。折傷以上ハ。懲役三年。廢疾ハ。懲役十年。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。並ニ斬。

第二百十八條　凡奏任官。勅任官ヲ毆ツ者ハ。判任官奏任官ヲ毆ツト。罪同シ。其勅任官奏任官ヲ毆チ。及ヒ奏任官。判任官ヲ毆ツ者ハ。並ニ。凡鬪毆ヲ以テ論ス。

從ト爲シテ論シ。一等ヲ減ス。

毆家長

凡奴婢。家長ヲ毆ツ者ハ。皆流一等。傷スル者ハ。皆流三等。折傷スル者ハ。皆絞。死ニ至ル者ハ。皆斬。過失傷スル者ハ。徒三年。過失殺スル者ハ。流三等。徒流。並ニ收贖スルヿヲ聽サス。

若シ雇人。家長ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒三年。折傷スル者ハ。流三等。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。過失殺傷スル者ハ。各常律ニ依テ。收贖スルヿヲ聽ス。

若シ奴婢。雇人。家長ノ教令ニ違犯スルニ。督責シテ。邂逅ニ死ニ致ス者ハ。笞五十。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。

毆家長條例

第二百二十條　凡雇人。家長ヲ毆チ。篤疾。及ヒ死ニ至ル者ハ。絞斬ニ處スル律ヲ改メ。俱ニ懲役終身。

第二百二十一條　凡雇人。家長ノ教合ニ違犯スルニ。督責シテ。邂逅ニ。死ニ致ス者ハ。笞五十。改テ。懲役七十日。

毆夫

凡妻。夫ヲ毆ツ者ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ。三等ヲ加フ。夫ノ親ラ告ルヲ待テ。乃坐ス。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者ハ。梟。

若シ妾。夫及ヒ正妻ヲ毆ツ者ハ。妻。夫ヲ毆ツ罪ニ。各一等ヲ加ヘ。加ヘテ死ニ入ル。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者ハ。梟。

毆夫條例

第二百二十二條　凡妻妾。夫ヲ毆テ。廢篤疾ニ至ル者ハ。絞ニ入ルヽ律ヲ改メ。俱ニ。懲役終身。妾ノ正妻ヲ毆ツ者モ。亦同シ。

毆傷妻妾

凡夫妻ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。折傷以上ハ。凡人ニ二等ヲ減ス。妻ノ親ヲ告ルヲ待テ。乃坐ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同。妾ヲ毆ツニ。折傷以上ハ。妻ヲ毆傷スルニ二等ヲ減ス。死ニ至ル者ハ。流一等。

若シ妻。妾ヲ毆傷スルハ。夫妻ヲ毆傷スルト。罪同。妾ノ親ヲ告ルヲ待テ。反坐ス。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。

若シ夫。妻ノ父母ヲ毆ツ者ハ。杖九十。折傷以上ハ。各凡鬪傷ニ一等ヲ加ヘ。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者。ハ。斬。故殺スル者モ。罪同。

毆三等親以下尊長

凡卑幼。三等親ノ尊長ヲ毆ツ者ハ。徒一年。四等親ノ尊長ハ。杖一百。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ。一等ヲ遞加ス。篤疾ハ。絞。死ニ至ル者ハ。斬。故殺スル者モ。罪同。

若シ尊長。卑幼ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。折傷以上ハ。五等親ノ卑幼ハ。凡人ニ一等ヲ減シ。四等三等親ハ。各一等ヲ遞減ス。死ニ至ル者ハ。絞。故殺スル者モ。罪同。

毆三等親以下尊長條例

第二百二十三條　凡夫。妻ヲ毆ヲ。死ニ至ル者ハ。絞。毆テ懲役終身。其故殺スル者ハ。絞。若シ夫。妻ノ父母ヲ毆ヲ。篤疾。及ヒ死ニ至ル者ハ。絞斬ニ處スル律ヲ改メ。懲役終身。其故殺スル者ハ。斬。

毆三等親以下尊長條例

第二百二十四條　凡卑幼。三等親ノ尊長ヲ毆ツ者ハ。尊長ヲ毆ヲ。篤疾ハ。絞。改テ。懲役終身。其故殺スル者ハ。絞。

第二百二十五條　凡卑幼。三等親以下ノ尊長ヲ過失。殺傷スル者ハ。並ニ凡人過失。殺傷ヲ以テ論シ。收贖スルヿヲ聽ス。

毆二等親尊長

凡弟妹兄姉ヲ毆ツ者ハ。徒二年。傷スル者ハ。徒二年半。折傷スル者ハ。流二等。癈疾ニ至ル者ハ。流三等。篤疾ニ至ル者ハ。絞。死ニ至ル者ハ。皆梟。

斬。故殺スル者ハ。皆梟。

若シ姪。伯叔父姑ヲ毆ツ。及ヒ外孫。外祖父母ヲ毆ツハ。各一等ヲ加フ。

癈疾以上ハ。兄姉ヲ毆ツト罪同。

其過失殺傷スル者ハ。各本殺傷罪ニ二等ヲ減シ。收贖スルヿヲ聽サス。

若シ兄姉。弟妹ヲ毆殺シ。伯叔父姑。姪ヲ毆殺シ。外祖父母。外孫ヲ毆殺スル者ハ。流二等。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。

毆祖父母父母

凡子孫。祖父母父母ヲ毆ヲ。及ヒ妻妾。夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ者ハ。皆梟。過失殺スル者ハ。流三等。傷スル者ハ。徒三年。並ニ收贖ヲ聽サス。若シ子孫ヲ故殺スル者ハ。徒三年。嫡母ノ殺スハ。一等ヲ加ヘ。繼母ハ流三等。

其子孫。祖父母父母ヲ毆罵シ。若クハ教令ニ違犯シテ。祖父母父母ヲ責シ。遲延ニ致シ。及ヒ過失殺スル者ハ。流二等。過失殺スル者ハ。各論スルヿ勿レ。

毆祖父母父母條例

第二百二十八條　凡子孫。祖父母父母ヲ毆ヲ。及ヒ妻妾。夫ノ祖父母ヲ毆ツ律ヲ改メ。毆ツ者ハ。懲役十年。傷スル者ハ。懲役終身ニ至ル者ハ。皆斬。故殺スル者ハ。皆梟。過失殺スル者ハ。懲役三年。傷スル者ハ。懲役一年。並ニ收贖スルヿヲ聽サス。

第二百二十九條　凡繼母。前妻ノ子ヲ非理ニ毆打シテ。折傷以上ニ至ル者。罪亦同。

毆二等親尊長條例

第二百二十六條　凡卑幼。二等親ノ尊長。及ヒ外祖父母ヲ。過失殺傷スル者ハ。各本殺傷罪ニ二等ヲ減スル律ヲ改メ。殺ス者ハ。懲役二年。傷スル者ハ。懲役百日。並ニ收贖スルヿヲ聽サス。

第二百二十七條　凡弟妹。兄姉ヲ毆ヲ。篤疾ニ至ル者ハ。絞。改テ。懲役終身。死ニ至ル者ハ。皆斬。改テ。皆絞。若シ姪。伯叔父姑ヲ毆ヲ。及ヒ外孫。外祖父母ヲ毆ヲ。篤疾及ヒ死ニ至ル者。罪亦同。

スル者ハ。各論スル〻勿レ。

妻妾與夫親屬相毆

凡妻妾。夫ノ二等親以下。四等親以上ノ尊長ヲ毆ツ者ハ。夫ノ毆ツト同罪。罪。流三等ニ止ル。死ニ至ル者ハ。各斬。故殺スル者モ。罪同。

若シ妻。夫ノ三等親以下ノ卑屬ヲ毆傷スルハ。夫ノ毆ツト罪同。妾ノ犯スハ。凡鬪ヲ以テ論ス。

二至ル者ハ。凡鬪傷ニ。三等ヲ減シ。死ニ至ル者ハ。懲役七年。

第二百三十條　凡子孫。教令ニ違犯スト雖モ。祖父母。父母非理ニ毆殺スル者ハ。懲役二年半。

妻妾與夫親屬相毆條例

第二百三十一條　凡妻妾。夫ノ二等親以下ノ尊長ヲ毆ヲ。死ニ至ル者ハ。各斬。故殺スル者ハ。斬。

父祖被毆

（スボネドタニウナコロサレタルセッシンアタウナリ）スルヿ

凡祖父母。父母。人ニ毆タレ。子孫。即時ニ救護シテ。還ツテ行兇人ヲ毆ツハ。折傷ニ非ルハ。論スルヿ勿レ。折傷以上ハ。凡鬪傷ニ。三等ヲ減ス。死ニ至ル者ハ。流三等。若シ祖父母。父母。人ニ殺サレ。子孫。擅ニ行兇人ヲ殺ス者ハ。皆五十。其即時ニ。殺死シ。及ヒ官ニ告ル者ハ。論スルヿ勿レ。

父祖被毆條例

第二百三十二條　凡祖父母。父母。人ニ殺サレ。子孫。擅ニ行兇人ヲ殺ス者ハ。謀殺ヲ以テ論ス。其即時ニ殺死スル者ハ。論スルヿ勿レ。

第二百三十三條　凡子孫。祖父母。父母ト同謀シテ。其ニ人ヲ毆ヲ。若クハ祖父母。父母。人ト忿爭シ。子孫ニ指令シテ毆打セシメ。及ヒ人ト鬪毆スルニ。其子孫勢ヲ助ケテ。共ニ毆ツ者ハ。俱ニ常律ニ照シテ。罪ヲ科シ。救護毆律ヲ用ヒス。

新律綱領目錄

罵詈律　計五條

罵人

罵本屬長官

罵家長

罵有服尊長

罵祖父母父母

改定律例目錄

罵詈律　計五條

罵官吏　四條

罵祖父母父母　一條

新律綱領

罵詈律

罵人ヲ

凡人ヲ罵ル者ハ笞一十互ニ相罵ル者ハ各笞一十

罵本屬長官

凡吏卒軍民本屬ノ勅任長官ヲ罵ル者ハ徒一年奏任長官ヲ罵ル者ハ杖九十判任長官ヲ罵ル者ハ杖六十

其長官及ヒ本屬ニ非ル者ハ各二等ヲ減ス並ニ親ヲ聞テ乃坐ス

改定律例

罵詈律

罵官吏律原罵本屬長官律

第二百三十四條　凡勅任官ヲ罵ル者ハ懲役一年奏任官ヲ罵ル者ハ懲役九十日判任官ヲ罵ル者ハ懲役六十日並ニ親ヲ聞テ乃坐ス

罵官吏條例

第二百三十五條　凡判任官勅任

官ヲ罵ル者ハ懲役六十日奏任官ヲ罵ル者ハ懲役四十日並ニ親ラ聞テ乃坐ス

第二百三十六條　凡奏任官勅任官ヲ罵ル者ハ判任官奏任官ヲ罵ルト罪同シ其勅任官奏任官ヲ罵リ及ヒ奏任官判任官ヲ罵ル者ハ並ニ凡人罵詈ヲ以テ論ス

第二百三十七條　凡平民本屬ノ戸長ヲ罵ル者ハ凡人罵詈ニ一等ヲ加ヘ邏卒ヲ罵ル者ハ又一等ヲ加フ

罵家長

凡奴婢家長ヲ罵ル者ハ徒一年雇人家長ヲ罵ル者ハ杖八十並ニ家長ノ親ラ告ルヲ待テ乃坐ス

罵有服尊長

凡卑幼四等親ノ尊長及ヒ妻ノ父母ヲ罵ル者ハ笞五十三等親ノ尊長ハ杖六十若シ兄姉ヲ罵ル者ハ杖九十伯叔父姑外祖父母ハ杖一百若シ妻妾夫ノ有服尊長ヲ罵ル者ハ夫ノ罵ルト罪同並ニ尊長ノ親ラ告ルヲ待テ乃坐ス

罵祖父母父母

凡子孫祖父母父母ヲ罵リ及ヒ妻

罵祖父母父母條例

第二百三十八條　凡子孫祖父母

妾夫ノ祖父母父母ヲ罵ル者ハ流三等祖父母父母ノ親ヲ告ルヲ待テ乃坐ス

妾夫ノ祖父母父母ヲ罵リ及ヒ妻妾夫ノ祖父母父母ヲ罵ル者ハ流三等二處スル律ヲ改メ並ニ徒役三年。

新律綱領目錄

訴訟律 計八條

越訴
承告不理
賭訟回避
誣告
干名犯義
子孫違教
教唆詞訟
官吏詞訟

改定律例目錄

誣訟律 計三條

誣告 一條
干名犯義 一條
子孫違教 一條

新律綱領

訴訟律

越訴

凡吏卒軍民詞訟スルニ本管ノ官司ニ由ラスシテ轍ク上司ニ越訴スル者ハ笞三十。雖モ皆三十。本管ノ官司受理セス及ヒ枉斷スル者ハ上司ニ陳告スルヲ許ス若シ理亟ニ文書ヲ投シ事ヲ申訴シテ實ナラサル者ハ杖七十。事重キ者ハ誣告律ニ依テ論ス實ヲ得ル者ハ罪ヲ免ス。

承告不理

凡人名及ヒ强盜等ヲ告ルニ官司

改定律例

訴訟律

明治六年八月十二日第二百九十八号布告

訴訟律内越訴条廃止候条此旨布告候事

但各裁判所及ヒ地方官ノ裁判ニ服セサルヲアリテ上告セントスル者ハ司法省布達壬申第四十六号本年廿三号ノ通可相心得事

即時ニ受理セサル者ハ杖七十。闕
毆傷畑田宅等ノ事ハ各犯人ノ罪ニ
ニ二等ヲ減シ。笞ニ罪杖七十ニ止ル。財ヲ受ケテ。受理セサル者ハ。贓ニ
ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

聽訟回避

凡官吏訴訟人ト親族若クハ師弟。及ヒ讎隙アル者ハ。笞ニ回避スル
コトヲ聽ス。違フ者ハ。罪ニ增減無シ
ト雖モ。笞三十。若シ增減アル者ハ。故出入人罪ヲ以テ論ス。

誣告

凡人ヲ誣告スル者ハ。罪ノ輕重ニ

誣告條例

第二百三十九條　凡收贖贓罪ニ

從ヒ。已ニ決配シ。未タ決配セサル
ヲ問ハス。告人ヲ反坐ス。死罪ニ誣
告シテ。未タ處決セサル者ハ。一等
ヲ減ス。

若シ二事以上ヲ告ルニ。重事
ニシテ。輕事ハ。虛。及ヒ。數事ヲ告テ。
罪等キニ。一事實ナル者ハ。虛
告ノ罪ヲ免ス。

若シ二事以上ヲ告ルニ。輕事ハ實
ニシテ。重事ハ。虛。或ハ一事ヲ
ニ。輕ヲ誣テ。重ト爲ス者ハ。並ニ。剩
ル所ニ。反坐ス。

其二人以上ヲ告ルニ。但タ一人實
ナラサル者アレハ。罪輕シト雖モ。

誣ル罪ヲ以テ人ヲ誣告スル者
ハ。即チ收贖贓罪ニ反坐ス。若シ
曰ノ罪ヲ避ンコトヲ規リ。人ヲ誣
告スル者ハ。原罪。收贖。贓罪ニ該
ルト雖モ反坐ノ罪。贖フコトヲ聽
サス。婦女ノ犯ス者モ。亦此例ニ
依ル。

猶ホ其罪ニ反坐ス。

若シ上書シテ人ヲ告ルニ。已ニ奏聞シテ。事實ナラサル者。反坐徒二年ニ及ハサル者ハ。上書詐不以實律ニ依テ論ス

若シ獄囚。已ニ伏罪シテ。竄枉ナキニ。因ノ親族。妄誣スル者ハ。因ノ罪ニ三等ヲ減ス。罪。杖一百ニ上ル。

于名犯義

凡子孫。祖父母父母ヲ告ケ。妻妾。夫及ヒ夫ノ祖父母父母ヲ告ル者ハ。實ヲ得ルト雖モ徒二年半。誣告スル者ハ。絞。若シ二等親ノ尊長及ヒ外祖父母ヲ告ル者ハ。實ヲ得ルト雖モ。杖九十。三等親ノ尊長ハ。杖八十。四等親ノ尊長ハ。杖七十。妻ノ父母ハ。杖六十。其告ラルヽ二等三等親ノ尊長及ヒ外祖父母。若シハ夫ノ父母ハ。皆ニ自首ニ同シ。罪ヲ減ス。四等親ノ尊長ハ。水罪ニ三等ヲ減ス。若シ誣告ノ罪重キ者ハ。各誣ル所ノ罪ニ三等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。

其嫡繼母。所生母。其父ヲ殺シ。及ヒ養父母。其所生父母ヲ殺シ。若シハ二等親以下ノ尊長ニ。財産ヲ侵奪セラレ。或ハ其身ヲ毆傷セラレテ。爭訟ノ自訴ス可キ者ハ。直ニ告ルヲ

第二百四十條 凡子孫。祖父母父母ヲ告シ。妻妾。夫及ヒ夫ノ祖父母父母ヲ誣告スル者ハ。絞ニ處ス。ル律ヲ改メ。懲役終身。

ヲ聽シ。告ラルヽ者ハ。各本律ニ依テ之ヲ科ス。干名犯義ノ限ニ在ラス。卑幼ノ告ラルヽモ。亦同。

若シ卑幼ヲ告ク實ヲ得ル者。二等三等親ノ卑幼。及ヒ女婿モ。亦自首ニ同ク。罪ヲ免ス。四等五等親ノ卑幼ハ。本罪ニ。三等ヲ減ス。誣告スル者。二等親ノ尊長ハ。誣ル所ノ罪ニ。三等ヲ減シ。三等親ノ尊長ハ。二等ヲ減シ。四等五等親ノ尊長ハ。一等ヲ減ス。

若シ夫。妻ヲ誣告シ。及ヒ妻。妾ヲ誣告スルモ。亦誣ル所ノ罪ニ。三等ヲ減ス。

若シ奴婢。家長ヲ告ル者ハ。實ヲ得ルト雖モ。杖九十。誣告スル者ハ。絞雇人。家長ヲ告ル者ハ。杖六十。誣告スル者ハ。誣ル所ノ罪ニ。三等ヲ加ヘ。罪。流三等ニ止ル。

其祖父母父母。外祖父母。子孫外孫ヲ誣告スル者ハ。論スルヿ勿レ。

若シ家長。奴婢雇人ヲ誣告スル者ハ。並ニ誣ル所ノ罪ニ三等ヲ減ス。

子孫違教

凡子孫。祖父母父母ノ教令ニ違犯シ。及ヒ奉養缺クルヿ有ル者ハ。杖一百。祖父母父母ノ親ヲ告ルヲ待テ。及坐ス。

子孫違教條例

第二百四十一條　凡祖父母父母。老疾シテ。家ニ侍養ノ親ナキニ。故ラニ棄去ル者ハ。懲役二年。

教唆詞訟

凡詞訟ヲ教唆シ。及ヒ人ノ爲ニ。詞狀ヲ作リ。情罪ヲ增減シテ。人ヲ誣告スル者ハ。犯人ト同罪。罪流三等ニ止ル。

若シ雇ヲ受ケ。人ヲ誣告スル者ハ。自ラ誣告スルト罪同。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。枉法ヲ以テ重キニ從テ論ス

其人ノ愚ニシテ。處枉ヲ伸ルコトヲ能ハサルヲ見テ。教令スルニ。實ヲ得。及ヒ人ノ爲ニ。詞狀ヲ書寫シテ。罪ニ增減ナキ者ハ。論スルコト勿レ。

官吏詞訟

凡官吏婚姻錢債田宅等ノ事ヲ爭論スルコト有レハ家人ヲシテ官ニ告ケ。對理セシムルコトヲ聽ス。官吏自ラ公文ヲ以テ。行移スルコトヲ許サス違フ者ハ。笞三十

新律綱領目錄

受贓律 計一十條

官吏受財

坐贓致罪

事後受財

聽許財物

以財請求

官吏求借財物

家人求索

因公科斂

竊留盜贓

受外國人餽送

改定律例目錄

受贓律 計四條

官吏受財 一條

事後受財 一條

以財請求 一條

受外國人餽送 一條

新律綱領

受贓律

官吏受財

凡官吏。枉法不枉法ノ事ニ因テ。財ヲ受ル者ハ。贓ニ計ヘ。之ヲ科ス。等外人ハ。各一等ヲ減ス。

若シ說事過錢スル者。等內人ハ。錢ヲ受ル人ニ。一等ヲ減ス。等外人ハ。二等ヲ減ス。罪。徒一年半ニ止ル。若シ別ニ財ヲ受ル者ハ。枉法不枉法贓ニ計ヘ。重キニ從テ論ス。

枉法ノ贓。各主アル者。通算シテ全科ス。

一兩以下。杖六十

改定律例

受贓律

官吏受財條例

第二百四十二條　凡官吏。枉法贓ヲ受ル者。等內人ハ。二百五十圓以上。等外人ハ。三百圓以上絞ニ處シ。及ヒ不枉法贓。等內人ハ。三百圓以上絞ニ處スル律ヲ改メ。並ニ懲役終身。

明治六年七月廿日第二百六十号御布告

凡枉法不枉法ヲ以テ論シ及ヒ。准シテ論スル。罪。平民ハ等外人ト。同ク。罪ヲ科ス。

一兩以上。杖七十
一十兩以上。杖八十
二十兩以上。杖九十
三十兩以上。杖一百
四十兩以上。徒一年
五十兩以上。徒一年半
六十兩以上。徒二年
七十兩以上。徒二年半
八十兩以上。徒三年
九十兩以上。流一等
一百兩以上。流二等
一百一十兩以上。流三等。
二百五十兩以上。絞
等外人八。三百兩以上。絞

不枉法ノ贓。各主アル者。通算シテ全科ス。

一兩以下。笞五十
一兩以上。杖六十
一十兩以上。杖七十
二十兩以上。杖八十
三十兩以上。杖九十
四十兩以上。杖一百
五十兩以上。徒一年
六十兩以上。徒一年半
七十兩以上。徒二年
八十兩以上。徒二年半
九十兩以上。徒三年
一百兩以上。流一等

一百一十兩以上流二等
一百二十兩以上流三等
三百兩以上絞
等外人八三百兩以上ニ至リ罪。
流三等ニ止ル。
坐贓致罪
凡枉法不枉法ノ事ニ因リ贓ヲ受ルニ非スシテ贓ニ坐シ罪ニ致ス者ハ通算シテ罪ヲ科ス與ル者ハ。
五等ヲ減ス。
五兩以下笞一十
五兩以上笞二十
二十兩以上笞三十
四十兩以上笞五十

六十兩以上笞五十
八十兩以上杖六十
一百兩以上杖七十
一百二十兩以上杖八十
一百四十兩以上杖九十
一百六十兩以上杖一百
二百兩以上徒一年
四百兩以上徒一年半
六百兩以上徒二年
八百兩以上徒二年半
一千兩以上徒三年
事後受財
凡官吏承行ノ事アリ。先キニ財ヲ
送ルヿヲ聽許セス。事過ルノ後。財

事後受財條例
第二百四十三條　凡官吏事後財ヲ受ル者ハ。本條ニ依リ罪ヲ科

ヲ受ケ事若シ枉斷スル者ハ枉法ニ準シテ論シ事枉斷セサル者ハ不枉法ニ準シテ論ス並ニ贓法ニ準シテ論ス並ニ贓等ニ止ル錢ヲ出シ及ヒ過スル人ハ並ニ杖七十

贓計財物

凡官吏財物ヲ迷ルコトヲ聽許スレハ求タ接受セスト雖モ事若シ枉ケル者ハ枉法ニ準シテ論シ各重キニ從テ論ス

以財請求

凡諸人事アリ財ヲ以テ官吏ニ請求シ非スト雖モ財ヲ以テ官吏ノ受理ヲ請求スル者ハ與ヘル所ノ財ヲ計ヘ坐贓ニ依テ論シ一等ヲ減ス並ニ罪徭役七十日ニ止ル

以財請求條例

第二百四十四條　凡枉法ノ事ニ

求シ法ヲ枉ルコトヲ得ント欲スル者ハ與ヘル所ノ財ヲ計ヘ坐贓ニ依テ論ス若シ難ヲ避ケ易ニ就キ枉ケル所ノ罪重キ者ハ重キニ從テ論ス

若シ官吏オ證留難シテ歸結ヲ與ヘス及ヒ强ヲ用ヒテ別ニ事ヲ生シ逼抑シテ財ヲ收受スル者ハ與ヘ出ス人ハ坐セス

官吏求借財物

凡監臨官吏勢ヲ挾ミ所部內ノ財物ヲ求索借貸スル者ハ並ニ贓ヲ計ヘ不枉法ニ準シテ論シ强ヲ用ヒテ索借スル者ハ枉法ニ準シテ

論シ。罪。流三等ニ止ル。其監臨ニア
ラサル官吏ハ。各一等ヲ減ス。
若シ官ヲ去リ。監部内ノ財物ヲ受
ケ。及ヒ求索借貸スル者ハ。各在官
ノ時ニ三等ヲ減ス。

家人求索

凡監臨官吏ノ家人奴僕。所部内ニ
於テ。財物ヲ取受シ。及ヒ求索スル
者ハ。各監臨官吏ノ罪ニ二等ヲ減
ス。監臨ニアラサル官吏ノ家人奴
僕ハ。又一等ヲ減ス。若シ監臨官及
ヒ官吏情ヲ知ル者ハ。同罪。罪流三
等ニ止ル。知ラサル者ハ。坐セス。

因公科斂

凡官吏公務ニ因テ。擅ニ所部内ノ
財物ヲ科斂スル者ハ。曰レニ入レ
スト雖モ。笞五十。贓重キ者ハ。
ヲ以テ論ス。曰レニ入ルヽ者ハ。贓
ニ計ヘ。枉法ヲ以テ論ス。

其公務ニ因ルニ非スシテ。所部内
ノ財物ヲ科斂シ。曰レニ入ルヽ者
ハ。贓ニ計ヘ。不枉法ヲ以テ論ス。
シ科斂シテ。人ニ饒送スル者ハ。
レニ入レスト雖モ。罪同。

赴留盜賊

凡巡捕官吏。已ニ盜賊ヲ獲テ。贓
ヲ赴留シ官司ニ送ラサル者ハ。笞

不柱法ヲ以テ論ス。

受外國人餽送

凡官吏人。私ニ外國人ノ餽送ヲ受ケ。即時ニ官ニ告サル者ハ。賊ニ計ヘ。不柱法ヲ以テ論ス。

受外國人餽送條例

第二百四十五條　凡外國人ノ餽送スル。飲食土宜等交際ノ禮ニ係リ。互ニ相贈遺スル者ハ。官ニ告ゲスト雖モ。以不柱法論ノ限ニ在ラス。

新律綱領目錄

詐僞律　計九條

詐爲官文書

對謁上書詐不以實

僞造官印

僞造寶貨

僞造斛斗秤尺

僞造私印

詐稱官

詐稱病死傷

詐教誘人犯法

改定律例目錄

詐僞律　計十四條

詐爲官文書　一條

對謁上書詐不以實　一條

僞造官印　一條

僞造寶貨　二條

詐稱官　一條

新律綱領

詐僞律

詐爲官文書

凡官ノ文書ヲ詐爲シ。及ヒ增減スル者ハ。皆徒三年。省臺寮司府藩縣ノ文書ハ。二等ヲ減シ。餘ノ文書ハ。五等ヲ減ス。未タ施行セサル者ハ。各一等ヲ減シ。重事ニ關スル文書ハ。各一等ヲ加フ。若シ規避スル所アル者ハ。各重キニ從テ論ス。

其當該ノ官司。知テ聽行スル者ハ。各同罪。罪。流三等ニ止ル。知ラサル者ハ。坐セス。

對詔上書詐不以實

改定律例

詐爲律

詐爲官文書條例

第二百四十六條　凡私ノ文書ヲ詐爲スル者ハ。情ヲ量リ。不應爲ニ問ヒ。輕重ヲ分ツ。

對詔上書詐不以實條例

凡對詔及ヒ奏事上書ニ。詐テ實ヲ以テセサル者ハ。徒二年。

僞造官印

凡官ノ印ヲ僞造スル者ハ。絞。省臺樞司府滿縣ノ印ハ。流一等。餘ノ印ハ。徒一年。未タ行使セサル者ハ。各一等ヲ減ス。財ヲ得ル者ハ。各盜罪ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

僞造寶貨

第二百四十七條　凡對詔及ヒ奏事上書ヲ除ク外。上ニ告ル二。詐テ實ヲ以テセサル者ハ。懲役一年。事情輕キ者ハ。懲役八十日。

僞造官印條例

第二百四十八條　凡官ノ印ヲ僞造スル者ハ。絞ニ處スル律ヲ改メ。懲役終身。

改正僞造寶貨律

第二百四十九條　凡寶貨ヲ僞造シ。已ニ行使スル者。首ハ。斬從及ヒ匠人。皆ク ハ。情ヲ知テ買使スル者ハ。懲役終身。其雜役ニ供スル者ハ。懲役十年。未タ行使セサル者ハ。各一等ヲ減ス。

其僞造。未タ成ラサル者。首ハ。懲役三年從。及ヒ匠人ハ。懲役二年半。雜役者ハ。懲役百日。

若シ過ヲ悔ヒ自首スル者。已ニ行使スルハ二等ヲ減シ。未タ行使セサルハ。罪ヲ免ス。

僞造寶貨條例

第二百五十條　凡金銀貨幣ノ邊線ヲ剪錯シテ。利ヲ取リ。行使スル者ハ。懲役三年。

第二百五十一條　凡紙幣ノ字樣

ヲ挑剔シ。戒片ヲ神鞅シ。筆畫ヲ描改シ。眞ヲ以テ僞ニ作リ。行使スル者ハ。懲役五年。

第二百五十二條　凡僞造タル丁ヲ知テ。買取シ。未タ行使セサル者ハ已買使者ニ一等ヲ減ス。

第二百五十三條　凡僞造タル丁ヲ知テ。屓ヲ受ケ。接遞シテ眞貨ニ兌換スル者ハ。知情買使ヲ以テ論ス。

第二百五十四條　凡僞造スルノ情ヲ知テ。房屋ヲ給シ。及ヒ窩藏スル者ハ。已未行使ヲ分チ。並ニ僞造從ヲ以テ論ス。

第二百五十五條　凡維役ニ俵スル者。屓工錢ニ。僞貨ヲ受ケ。行使スル者ハ。知情行使律ニ依ル。

第二百五十六條　凡僞造已ニ成リ。未タ行使セスシテ悔悟シ。其贓黨ヲ脫スト雖モ。首報セサル者ハ。僞造已成未行使ヲ以テ論ス。其僞造未タ成ラサル者ハ。懲役百日。

第二百五十七條　凡人ノ寶貨ヲ僞造スルヿヲ知テ。官司ニ申報セサル者ハ。遵令重ニ問フ。

第二百五十八條　凡寶貨ヲ取受スルノ後。始テ僞造ニ係ルヿヲ

知リ。官ノ檢視ヲ經スシテ。行使スル者ハ。不應爲重ニ問フ。

明治六年六月廿八日第二百卅一号御布告

僞造宝貨条例別紙ノ通創定夫条此旨相達候事

僞造宝貨條例

凡紙幣ニ印スルニ漏印及ヒ倒用スル者ハ一張ニ懲役十日三張毎ニ一等ヲ加ヽ罪懲役七十日ニ止ル若シ換査官贓脇交收スル者罪亦同

明治六年八月二日第二百七十九号御布告

詐譌律中僞造斛斗秤尺條例左ノ通創定候條此旨布告候事

僞造斛斗秤尺

凡斛斗秤尺ヲ僞造スル者ハ。流一等。從タル者。及ヒ匠人ハ。徒三年。

僞造私印

凡私印ヲ僞造スル者ハ。杖一百。財ヲ得ル者ハ。贓ニ計ヘ。各盜罪ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

詐稱官

凡無官ニシテ。有官ト詐稱シ。或ハ官司ノ差遣ト詐稱シテ。人ヲ捕ヘ。及ヒ官員ノ姓名ヲ詐冒シテ。求爲スル所アル者ハ。徒二年半。犯ス所輕キ者ハ。杖七十。

若シ見任官ノ子孫弟姪家令等ト詐稱シテ。求爲スル所アル者ハ。杖九十。犯ス所輕キ者ハ。笞三十。從タル者ハ。各一等ヲ減ス。

若シ財ヲ得ル者ハ。贓ニ計ヘ。竊盜ニ準シ。重キニ從テ論ス。罪。流三等ニ止ル。

僞造斛斗秤尺條例

凡斛斗ノ邊緣ヲ增補シ秤量ノ標星懸紐ヲ変換シテ利ヲ圖ル者ハ懲役一年半情輕キ者ハ不應爲律ニ問ヒ輕重ヲ分ツ

明治十年三月二日第廿五号御布告

凡寶貨ヲ僞造シ已ニ行使スル者首ハ斬改テ懲役終身從及ヒ匠人若クハ情ヲ知テ買使スル者。懲役終身改テ懲役十年。其雜役ニ。供スル者ハ。懲役十年改テ。懲役七年。

詐稱官條例

第二百五十九條　凡鄕貫名氏ヲ詐稱シテ客廛ニ宿スル者ハ。不

詐稱病死傷

凡官吏人等。疾病ト詐稱シ。事ニ臨テ難ヲ避ル者ハ。笞三十。避ル所事重キ者ハ。杖七十。

若シ罪ヲ犯シテ。死スト詐稱シ。聞ヲ免レントスル者ハ。徒一年半。避ル所事重キ者ハ。各重キニ從テ論ス。

若シ人ト忿爭シテ。故サラニ自ラ傷殘シ。人ニ詐賴スル者ハ。杖七十。其雇ヒヲ受ケ。人ノ爲ニ。傷殘スル者ハ。犯人ト同罪。因テ死ニ致ス者ハ。鬬殺罪ニ一等ヲ減ス。

若シ當該ノ官司。知テ聽行スル者ハ。同罪罪流三等ニ止ル。知ラサル者ハ。坐セス。

詐教誘人犯法

凡詐テ人ヲ教誘シテ。法ヲ犯サシメ。卻テ自ラ捕獲シ。若クハ告舉シ。或ハ人ナシテ。捕告セシムル者ハ。法ヲ犯スノ人ト同罪。

新律綱領目錄

犯姦律　計五條

犯姦

親屬相姦

姦家長妻女

姦部民妻女

居喪及僧尼犯姦

改定律例目錄

犯姦律　計九條

犯姦一條

親屬相姦一條

姦家長妻一條

姦部民妻一條

居喪犯姦一條

犯姦條例四條

新律綱領
犯姦律
犯姦
凡和姦ハ。各杖七十。夫アル者ハ。各懲役一年。妻ハ。一等ヲ減ス
徒三年。
若シ媒合及ヒ容止シテ。通姦セシムル者ハ。犯人ノ罪ニ。一等ヲ減ス
強姦スル者ハ。流三等。ボタ成ラサル者ハ一等ヲ減ス。因テ折傷スル者ハ。絞。婦女ハ坐セス。十二歳以下ノ幼女ヲ姦スル者ハ。和ト雖モ。強ト同ク論ス。
親族相姦

改定律例
改正犯姦律
犯姦
第二百六十條　凡和姦。夫アル者ハ。各懲役一年。妻ハ。一等ヲ減ス
若シ媒合。及ヒ容止シテ。通姦セシムル者ハ。犯人ノ罪ニ。二等ヲ減ス。強姦スル者ハ。懲役十年。未タ成ラサル者ハ。一等ヲ減ス。因テ折傷スル者ハ。懲役終身。婦女ハ坐セス。十二歳以下ノ幼女ヲ姦スル者ハ。和ト雖モ。強ト同ク論ス。
親屬相姦

凡父祖ノ妾姑。姊妹。及ヒ子孫ノ婦
兄弟ノ女ヲ姦スル者ハ。各流三等
强姦スル者ハ。斬。
若シ毋ノ姊妹。及ヒ兄弟ノ妻。姪ノ
妻ヲ姦スル者ハ。各流一等。强姦ス
ル者ハ。絞。妾ヲ姦スル者ハ。各一等
ヲ減ス。强姦スル者ハ。絞。
若シ前夫ノ女。同毋異父姊妹ヲ姦
スル者ハ。各徒三年。强姦スル者ハ
絞。

姦家長妻女

凡奴僕雇人。家長ノ妻ヲ姦スル者

第二百六十一條　凡父祖ノ妾。伯
叔姑姊妹。及ヒ子孫ノ婦ヲ姦ス
ル者ハ。各懲役三年。强姦スル者
ハ。各懲役終身。若シ毋ノ姊妹。及ヒ
兄弟ノ妻。姪ノ妻ヲ姦スル者ハ。
懲役二年。妾ヲ姦スル者ハ。各一
等ヲ減ス。强姦スル者ハ。並ニ懲
役終身。

姦家長妻

第二百六十二條　凡雇人。家長ノ

ハ。流三等。姦婦ハ。徒三年。强姦スル
者ハ。斬。
若シ家長ノ女。姊妹。及ヒ姑。若ク
兄弟ノ妻ヲ姦スル者ハ。流一等。婦
女ハ。凡姦ヲ以テ論ス。强姦スル者
ハ。絞。妾ヲ姦スル者ハ。各一等ヲ減
ス。强姦スル者ハ。絞。

姦部民妻女

凡官吏。所部内ノ妻女ヲ姦スル
ハ。凡姦罪ニ二等ヲ加フ。婦女ハ。凡
姦ヲ以テ論ス。

居喪及僧尼犯姦

凡父母。舅姑。及ヒ夫ノ喪ニ居リ。若
クハ僧尼ノ姦ヲ犯ス者ハ。各凡

妻ヲ姦スル者ハ。各懲役一年半。
强姦スル者ハ。懲役終身。

姦部民妻

第二百六十三條　凡官吏。部民ノ
妻ヲ姦スル者ハ。懲役一年半。相
姦スルノ妻ハ。懲役一年。

居喪犯姦

第二百六十四條　凡父母。舅姑。及
ヒ夫ノ喪ニ居リ。姦ヲ犯ス者ハ。

罪ニ二等ヲ加フ。相姦スル
ノ人ハ。凡姦ヲ以テ論ス。

各凡姦ニ一等ヲ加フ。相姦スル
ノ人ハ。凡姦ヲ以テ論ス。

犯姦條例

第二百六十五條　凡和姦ノ後。姦
情敗露ニ因テ。姦婦。情ヲ追自盡ス
ル者ハ。姦夫。情ヲ知ラスト雖モ
姦罪ニ。一等ヲ加フ。

第二百六十六條　凡夥姦スル者
ハ。各懲役九十日。華士族ハ。破廉
恥甚ヲ以テ論ス。其姦セラルヽ
ノ幼童十五歳以下ノ者ハ。坐セ
ス。若シ强姦スル者ハ。懲役十年
未タ成ラサル者ハ。一等ヲ減ス。

第二百六十七條　凡私娼ヲ衒賣

スル。寫主ハ。懲役四十日。婦女及
ヒ媒合容止スル者ハ。一等ヲ減
ス。若シ父母ノ指令ヲ受ル者ハ。
罪ヲ其父母ニ坐シ。婦女ハ坐セ
ス。

第二百六十八條　凡僧尼ノ姦ヲ
犯ス者ハ。凡姦罪ヲ以テ論ス。

明治六年七月三十日第二百七十四号御布告

居喪犯姦律左ノ通改正候條此
旨布告候事

父母夫ノ喪ニ居リ姦ヲ犯
ス者ハ。凡姦ニ一等ヲ加フル律
ヲ改メ。父母舅姑ノ喪ニ居リ姦
ヲ犯ス者ハ。凡姦ヲ以論シ。夫ノ

喪ニ居リ姦ヲ犯ス者ハ有夫ヲ以論ス相姦スル人ハ並同罪

明治六年七月二十八日第二百七十三号御布告

犯姦條例左ノ通創定候條此旨布告候事

犯姦條例

凡妻妾ヲ縦容シテ人ト通姦セシムル者ハ本夫姦夫姦婦各懲役一年因テ貶ヲ圖ル者ハ枉法ニ準シ重キニ從テ論ス

明治六年十月十七日第三百四十九号御布告

犯姦條例

強姦死ニ致ス者ハ斬

明治七年五月十三日司法省第十号御達

今般犯姦ノ儀ニ付左ノ通於当省識定候条此旨可相心得候事

一凡奸事他人ノ指捕ニ係ル者ハ論スルヿ勿レ

明治九年一月十二日第一号御布告

改定律例第二百六十七條私娼街賣條例相廢シ賣淫取締懲罰ノ儀ハ警視廳並ニ地方官ヨリ被任候條此旨布告候事

新律綱領目錄

雜犯律 計一十條

拆毀揭榜塲

販賣鴉片烟

賭博

囑託公事

失火

放火

費用受寄財產

得遺失物

違令

不應爲

改定律例目錄

雜犯律 計二十三條

賭博 四條

失火 五條

放火 四條

得遺失物 五條

違令 二條

不應爲 三條

新律綱領

雜犯律

拆毀揭榜塲

凡揭榜塲ヲ拆毀シ。及ヒ販鬻ヲ毀スル者ハ。徒三年。

販賣鴉片烟

凡鴉片烟ヲ販賣シテ。利ヲ圖ル者首ハ。斬。從ハ。流三等。

若シ人ヲ引誘シテ。吸食セシムル者ハ。絞。從及ヒ情ヲ知リ。房屋ヲ給スル者ハ。流三等。引誘セラレテ。吸食スル者ハ。徒一年

若シ販賣シテ。未タ售賣セサル者。首ハ。流三等。從ハ。徒三年。買食スル

改定律例

雜犯律

者ハ。徒二年半。並ニ鴉片烟ハ。官ニ
沒入ス。
若シ官吏。知テ舉セサル者ハ。同罪。
罪。流三等ニ止ル。財ヲ受ル者ハ。枉
法ヲ以テ。重ニ從テ論ス。

賭博

凡財物ヲ賭シ博戲ヲ爲ス者ハ。皆
杖八十。賭場ノ財物ハ。官ニ入ル。其
賭房ヲ開張スル人ハ。其列ニ與ラ
スト雖モ。同罪飲食ヲ賭スル者ハ。
論スル勿レ。
若シ產業無クシテ。常ニ腰刀ヲ挾
帶シ。無賴ノ徒ヲ招結シ賭場ヲ開
張シ。四鄰ニ橫行スル者ハ。皆流一

賭博條例

第二百六十九條　凡賭博。三犯以
上ハ。懲役一年。

第二百七十條　凡賭場。現在ノ財
物ハ。官ニ入ルト雖モ。其田宅等
不動產ニ係ル者ハ。原主ニ還付
シ。官ニ入ルヽノ限ニ在ラス。

第二百七十一條　凡博戲ニ用フ
ル骰子。骨牌ヲ賣ル者ハ。賭博者
等。
ト同罪。再犯ハ。一等ヲ加ヘ。三犯
以上ハ。懲役一年。

第二百七十二條　凡賭博ノ列ニ
與ラスト雖モ。母錢ヲ借シ。息ヲ
收ル者ハ。犯人ト同罪。

明治七年四月廿五日司法省第八号布達

賭博ヲ企テ來リ行ハサル者及
ヒ博戲ノ爲ニ骰子骨牌ヲ持ス
ル者ハ情ヲ量リ。違式輕重ニ問
ヒ。並ニ贓ヲ聽ス

囑託公事

凡法令ヲ曲ケンコトヲ欲シ。公事ヲ
囑託スル者ハ。已レノ爲ニシ。人ノ
爲ニスルコトヲ論セス。皆四十。當該

ノ官吏聽從スル者ハ。同罪。聽從セサル者ハ。坐セス。若シ事已ニ施行スル者ハ。杖九十。枉ル所罪重キ者。官吏ハ。故出入人罪律ヲ以テ論ス。若シ他人及ヒ縱嗾ノ爲ニ囑託シテ。枉ル所罪。皆四十ヨリ重キ者ハ。當該官吏ノ罪ニ。三等ヲ減ス。自己ノ事ヲ囑託スル者ハ。坐スヘキ水罪ニ。一等ヲ加フ。

若シ法ヲ曲ケ。賊ヲ受ル者ハ。賊ニ計へ。枉法ヲ以テ論ス。

失火

凡火ヲ失シテ。自己ノ宅舍ヲ燒ク者ハ。皆二十。人ノ宅舍ニ。延燒スル者ハ。皆四十。罪。止タ火ヲ失スル人ニ依リ罪ヲ科スルノ外。官幣國幣大社ハ。山陵ト同シク論シ。中社ハ。懲役百日。小社ハ。懲役九十日。府縣社ハ。懲役七十日。鄉社ハ。懲役六十日。延燒スル者ハ。各本罪ニ。三等ヲ減ス。減シテ。人ノ宅舍ヲ延燒スルヨリ輕ク若クハ等キハ。並ニ。一等ヲ加フ。

第二百七十三條　凡太廟及ヒ山陵內ニ於テ。火ヲ失スル者ハ。律ニ依リ罪ヲ科スルノ外。官幣國幣大社ハ。山陵ト同シク論シ。中社ハ。懲役百日。小社ハ。懲役九十日。府縣社ハ。懲役七十日。鄉社ハ。懲役六十日。延燒スル者ハ。各本罪ニ。三等ヲ減ス。減シテ。人ノ宅舍ヲ延燒スルヨリ輕ク若クハ等キハ。並ニ。一等ヲ加フ。

第二百七十四條　凡舩居人火ヲ失シテ。其家ヲ燒ク者ハ。自己宅舍ヲ燒クニ。一等ヲ加フ。

第二百七十五條　凡火ヲ失シテ人ヲ燒死ニ致ス者ハ。死屍ノ多寡ヲ論セス。一等ヲ加フ。其同居

放火

ノ祖父母父母ヲ。燒死ニ致ス者ハ。懲役百日。

明治六年八月十二日第二百九十九号御布告

改定律例第二百七十五條左ノ通改正候條此旨布告候事

第三百七十五條　凡火ヲ失シテ人ヲ燒死ニ致ス者ハ死罪ノ多寡ヲ論セス一等ヲ加フ其同居一等親ノ尊長ヲ燒死ニ致ス者ハ懲役百日二等親以下ノ尊長ハ各一等ヲ遞減シ卑幼ハ各等親ニ照シ尊長ニ三等ヲ減ス減シテ罪致人燒死律ヨリ輕キ者ハ減セス其各居ニ係ル者ハ等親尊卑ヲ論セス並ニ致人燒死ト罪同

第二百七十六條　凡火ヲ失シテ人ノ山林柴草。及ヒ空間房屋。若クハ田塲積聚ノ物ヲ延燒スル者ハ。官私ヲ分タス。人ノ宅舍ニ延燒スルニ。一等ヲ減ス。

第二百七十七條　凡盜犯。火ヲ用ヒテ。門關戸樞ヲ燒燬シ。及ヒ燭炬ヲ持シ。期セスシテ。失火ニ致ス者ハ。懲役三年。若シ盜罪重キ者ハ。重キニ從テ論ス。

放火條例

凡火ヲ放テ。故サラニ公廨倉庫。及ヒ民舍ヲ燒ク者ハ皆斬。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。流三等。

第二百七十八條　凡火ヲ放テ。人ノ空間房屋。及ヒ田場積聚ノ物ヲ燒ク者ハ。懲役七年。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。懲役三年。

第二百七十九條　凡火ヲ放テ故ラニ自己ノ房屋ヲ燒ク者ハ。懲役九十日。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。一等ヲ減ス。若シ期セスシテ。公廨倉庫及ヒ民舍ヲ延燒スル者ハ。懲役二年半。因テ財ヲ盜ム者ハ。懲役終身。

第二百八十條　凡火ヲ放テ人ノ空間房屋ヲ燒キ。期セスシテ人ノ宅舍ニ延燒スル者ハ。懲役十年。

第二百八十一條　凡火ヲ放テ人ノ宅舍ヲ燒キ。未タ燒燬ニ至ラサル者。律ニ照シ。懲役十年ニ處スル外。若シ雇人等。家長ノ督責ニ苛迫シ。一時脫身ヲ圖リ。纔ニ火ヲ放チ。未タ燒燬ニ至ラサル者ハ。情ヲ量テ。三等ヲ減シ。懲役三年。

費用受寄財産

凡他人ヨリ。財物音信ノ寄託ヲ受ケ。輒ク費用スル者ハ。坐贓ヲ以テ論シ。一等ヲ減ス。罪徒二年半ニ止ル。死失ト詐言スル者ハ。竊盜ニ。

若シ官私地内ニ於テ埋蔵ノ物ヲ堀得ル者ハ。竝ニ官ニ送リ地主ト中分セシム。隠シテ送ラサル者ハ。主ニ分ツ可キノ數ヲ計ヘ。坐贓ヲ以テ論シ。一等ヲ減ス。仍ホ地主ト中分セシム。

得遺失物

凡遺失ノ物ヲ得レハ。必ス官ニ送ルヘシ。官物ハ。全ク官ニ入レ。私物ハ。一半ヲ其主ニ給シ。一半ヲ得ル人ニ給ス。若シ三十日内ニ。其主ナケレハ。全ク給ス。若シ官ニ送ラサル者。官物ハ。坐贓ヲ以テ論シ。物ヲ追シテ。官ニ還ス。私物ハ。一等ヲ減シ。主アルハ。物ヲ追シテ。主ニ給シ。主ナキハ。官ニ入ル。

第二百八十二條　凡水中沈没ノ物ヲ得レハ。遺失物ヲ得ルヲ以テ論ス。

第二百八十三條　凡遺失物ヲ得ルニ。物品。盗賊ニ係ルト雖モ。私物ナレハ。一半ヲ其主ニ給シ。

第二百八十四條　凡官吏遺卒。遺失物ヲ得レハ。所部内外ヲ問ハ

得遺失物條例

第二百八十四條　凡官私地内ニ於テ。埋蔵ノ物ヲ堀得ル者ハ。竝ニ官ニ送リ。地主ト中分セシム。隠シテ送ラサル者ハ。主ニ分ツ可キノ數ヲ計ヘ。坐贓ヲ以テ論シ。一等ヲ減ス。仍ホ地主ト中分セシム。

第二百八十五條　凡人ノ邸宅内ニ於テ。遺失物ヲ竊取スル者ハ竊盗ニ準シテ論ス。

明治九年四月十九日第五十五号御布告

得遺失物條例

新律綱領得遺失物律左ノ通改正シ改定律例第二百八十二條

第二百八十三條第二百八十四條第二百八十五條第二百八十六條刪除候條此旨布告候事

明治九年四月十九日第五十六号卿布告

遺失物取扱規則左ノ通相定候條此旨布告候事

遺失物取扱規則

第一條　凡遺失物ト稱スルハ自ラ其遺失スルヲ覺ラス及ヒ其所在ノ明カナラサルモノヲ云フ故ニ若シ其物ヲ得ル ニ臨テ物主其場ニ就テ其主タルヲ証明スルニ於テハ互ニ之ヲ返還シ遺失物ヲ以テ論スルヲ得ス

第二條　凡遺失ノ物ヲ得レハ五日内ニ其主ニ還シ其主分明ナラサルハ之ヲ官ニ送ルヘシ官之ヲ榜示シ一年内其主ナキ時ハ之ヲ得者ニ給ス

第三條　凡遺失スル物品ノ模様員數並ニ遺失ノ日時場所等ヲ可成丈ケ詳細ニ記載シ速カニ官ニ届出ヘシ但得者ヨリ其返還ヲ得ル時モ亦更ニ其旨ヲ届出ヘシ

第四條　凡遺失ノ物ヲ得レハ之ヲ其主ニ還スト雖モ其費用ヲ償ハシムルヿヲ得且得者ニ報勞ノタメ其物價百分ノ五ヨリ少カラス二十ヨリ多カラサル金圓ヲ給スヘシ若シ物主得者ト其價拾ヲ爭フ時ハ官之ヲ評價人ニ托シテ其價ヲ定ム

第五條　凡遺失物ヲ得ル二物品盜賊ニ係ルモノハ互ニ官ニ送ルヘシ官之ヲ其主ニ還シ止タ其費用ノミヲ償ハシム

第六條　凡官私ノ地内ニ於テ埋藏ノ物ヲ掘得ル者ハ並ニ官ニ送リ地主ト中分セシム但其主分明ナルモノ及ヒ盜賊ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

第七條　凡遺失ノ物ヲ得ル二若シ其物耐久シ難ケシテ其主分明ナラサル時ハ迅速ニ之ヲ官ニ送ルヘシ官之ヲ公賣シ其代價ヲ領置シ榜示シテ所分スル

┐第二條ノ如シ

第八條　凡家畜ノ類他所ニ逸走スルモノハ之ヲ遺失物ト稱スルヲ得スト雖モ其主ヨリ之ヲ官ニ報シ及ヒ得者ニ其費用ト報勞金ヲ給與スル┐第三條第四條ニ同シ若シ他人ノ財産ヲ毀損スル時ハ律ニ照シテ所分ス

第九條　凡逸走スル畜類ヲ得タル者其主分明ナラサレハ之ヲ官ニ送ルヘシ若シ八日内其主ナケレハ官之ヲ公賣シテ得者ニ其費用ヲ償ヒ仍ホ代金ノ剩餘アルモノハ之ヲ官ニ領置シ榜示シテ所分スル┐第二條ノ如シ

第十條　凡遺失物及ヒ逸走畜類ノ官ニ係ルモノハ官ヨリ得者ニ其費用ト報勞金ヲ給スル┐私物ニ異ナル┐ナシ

第十一條　凡警察官吏タル者ハ所部ノ内外ヲ問ハス遺失物ヲ得レハ速ニ之ヲ官ニ送リ全ク其主ニ還付シ其主ナケレハ之ヲ官ニ沒ス

第十二條　凡一切應禁ノ物ヲ得レハ遺失及ヒ埋藏ヲ論セス並

違令

凡令ニ違フニ。重キ者ハ。笞四十。輕キ者ハ。一等ヲ減ス。

二官ニ沒ス

第十三條　凡公私債証書地券諸鑑札等ノ類ハ遺失物ヲ以テ論スルヲ得ストイヘモ物主ハ得者ニ其費用ヲ償フヘシ

第十四條　凡遺失物及ヒ逸走畜類ヲ得者ハ埋藏物ヲ堀得テ官私ニ全ク還セス或ハ物主ノ其主タルコヲ証明スルニ冒認シテ返還セサル者ハ竝ニ律ニ照シテ所分ス

違令條例

第二百八十七條　凡制ニ違フ者ハ。懲役百日。輕キ者ハ。一等ヲ減ス。

不應爲

凡律令ニ正條ナシト雖モ。情理ニ於テ。爲スヲ得應カラサルノ事ヲ爲ス者ハ。笞三十。事理重キ者ハ。杖七十。

第二百八十八條　凡式ニ違フ者ハ。懲役二十日。輕キ者ハ。一等ヲ減ス。

不應爲條例

第二百八十九條　凡二人以上。同ク不應爲ヲ犯シ。首タル者。懲役三十日ニ該レハ。從ハ。懲役二十日。首タル者。懲役七十日ニ該レハ。從ハ。懲役六十日ニ科ス。若シ所犯輕重ノ分アレハ。不應輕重ニ分擬シ。首從ヲ以テ論セス。

第二百九十條　凡佛像ヲ棄毀スル者ハ。不應爲重ニ科ス。

名ヲ以テ人ニ加ヘ公布スル者之ヲ誹謗トス著作文書若クハ畫圖省像ヲ用ヒ展觀シ若クハ發賣シ若クハ貼示シテ人ヲ謗毀シ若クハ誹謗スル者ハ下ノ條例ニ從テ罪ヲ科ス

第二條　第一條ノ所爲ヲ以テ乘輿ヲ犯スニ渉ル者ハ禁獄三月以上三年以下罰金五十圓以上千圓以下

第三條　皇族ヲ犯スニ渉ル者ハ禁獄十五日以上二年半以下罰金十五圓以上七百圓以下

第四條　官吏ノ職務ニ關シ謗毀

第二百九十一條　凡誣言怪說ヲ流傳シ及ヒ著述シテ政體ヲ妨害スル者ハ不應爲重ニ科ス

明治八年九月五日第百三十七号御布告

改定律例第二百九十一條削除候條此旨布告候事

明治八年六月廿八日第百十号御布告

讒謗律別冊之通被定候條此旨布告候事

讒謗律

第一條　凡ソ事實ノ有無ヲ論セス人ノ榮譽ヲ害スヘキ行事ヲ摘發公布スル者之ヲ謗毀トス人ノ行事ヲ擧ルニ非スシテ惡

スル者ハ禁獄十日以上二年以下罰金十圓以上五百圓以下誹謗スル者ハ禁獄五日以上一年以下罰金五圓以上三百圓以下

第五條　華士族平民ニ對スルヲ論セス誹毀スル者ハ禁獄七日以上一年半以下罰金五圓以上三百圓以下誹謗スル者ハ罰金三圓以上百圓以下

第六條　法ニ依リ撿官若クハ法官ニ向テ罪犯ヲ告發シ若クハ證スル者ハ第一條ノ例ニアラス其ノ故造誣告シタル者ハ誣告律ニ依ル

第七條　若シ誹毀ヲ受ルノ事刑法ニ觸ルヽ者撿官ヨリ其事ヲ糾治スルカ若クハ誹毀スル者ヨリ撿官若クハ法官ニ告發シタル時ハ誹毀ノ罪ヲ治ムルコトヲ中止シ以テ事案ノ決ヲ俟チ其ノ被告人罪ニ坐スル時ハ誹毀ノ罪ヲ論セス

若シ事刑法ニ觸レスシテ單ヘニ人ノ榮譽ヲ害スル者ハ誹毀スルノ後官ニ告發スト雖モ仍ホ誹毀ノ罪ヲ治ス

第八條　凡ソ誹毀誹謗ノ第四條

第五條ニ係ル者ハ被害ノ官民ヲ
目ラ告ルヲ待テ乃ハチ論ス

新律綱領目錄

捕亡律　計六條

追捕罪人

罪人拒捕

獄囚脫監及反獄逃走

徒流人逃

主守不覺失囚

藏匿罪人

改定律例目錄

捕亡律　計二十條

追捕罪人　一條

獄囚脫監及反獄逃走　五條

懲役人逃　十條

主守不覺失囚　三條

藏匿罪人　一條

新律綱領

捕亡律

追捕罪人

凡捕吏差遣ヲ承ケ。罪人ヲ追捕スルニ。事故ニ託シテ。行カス。若クハ罪人ノ所在ヲ知テ。捕ヘサル者ハ。杖二百。

若シ財ヲ受ケ。故縱スル者ハ。囚ト同罪。賊重キ者ハ。賊ニ計ヘ。枉法ヲ以テ。重キニ從テ論ス。

罪人拒捕

凡罪ヲ犯シテ逃走シ。追捕ヲ拒ク者ハ。各本罪上ニ二等ヲ加ヘ。罪流三等ニ止ル。水罪死スヘキ者ハ。常律

改定律例

捕亡律

追捕罪人條例

第二百九十二條　凡捕吏正犯ノ財ヲ受ケ。故縱スル同罪者。正犯。死ニ至レハ。同罪者ハ。絞ニ處スル律ヲ改メ。懲役終身ニ從フト雖モ。其財ヲ受スシテ。故縱シ。及ヒ通信シテ。逃避セシムル同罪者ハ。罪。懲役十年ニ止ル

（明治十年三月二日第二十五號御布告）

罪人拒捕律

捕吏ヲ殴チ折傷以上ニ至ル者ハ。絞改テ懲役終身